



2020年度

向陽ヶ丘病院年報



北海道立向陽ヶ丘病院

はじめに

昨年私が赴任した直後にこの文章を依頼され、「新型コロナウイルス感染症の流行が我々の日常生活をこれほどまでに大きく変化させることになるとは」といった内容を書き記しました。その当時は「きっと1年経てば『過去の話』になっているのだろうな」と思っていたのですが、実際はどうでしょうか。令和3年5月21日現在、感染者数増加により北海道には緊急事態宣言が発令されているような状況です。ただでさえ未知のウイルスであった新型コロナウイルスに「変異株」なる亜種が出現、感染力も重症化率もこれまでのウイルスよりも高いのだとか。過去の話どころか1年経ってもまだ流行終息の兆しが見えていません。

医療現場も混乱を極めていて、感染者を受け入れるベッドが足りない、ベッドが足りても人が足りないという状況が全国的に続いており、当院では感染者が発生している施設、宿泊療養施設、あるいは他院への看護師派遣も経験しました。令和3年4月には網走市内で初のクラスター発生。現時点で当院での新型コロナウイルス発生はないものの、いつどうなってもおかしくない日々です。緊張感が続きます。

そんな中で我々自身が各々の体調、メンタルを維持しながら精神科医療を提供し続けていくことは、決して容易いことではありませんが、かといって簡単に投げ出してよいものでもありません。昨年と同じ事を書くことになりますが「解決するために自分が力を発揮できることは何なのか。現状をよく把握した上で周囲と情報共有し、それぞれがパフォーマンスを存分に発揮しよりよい医療を提供できるよう取り組んでいく」ことで、当院の機能を維持し、それが「地域の他院がその専門性を発揮し機能を維持する」ことにもつながり、結果的に新型コロナウイルス治療をはじめとした地域医療全体を支えていくことになるのだと思います。

一人一人ができることには限りがありますが、皆で力を合わせこの時代を乗り越えてゆきましょう。1日も早く新型コロナウイルスの流行がおさまってくれることを祈ります。

令和3年5月21日

病院長 三上敦大

理念、基本方針等

理 念

「こころの和と輪」を大切に、
患者さま、ご家族、地域の皆さまと手を携え、信頼と満足の医療を目指します。

基本方針

- ・オホーツク圏における精神科医療の基幹病院としての役割を果たします。
- ・患者さまの権利を尊重し、安全で信頼される医療を提供します。
- ・人権を尊重し、地域との連携を深め、患者さまの社会参加を応援します。
- ・医の倫理を踏まえ、より質の高い医療を目指して職員の資質の向上に努めます。
- ・公的責務を自覚し、透明かつ適正な病院経営に努めます。

患者さまの権利と義務

「患者さまの権利」

向陽ヶ丘病院は「患者の権利宣言(リスボン宣言)」を尊重します。

- ・人権や価値観を尊重され、適正な医療を公平に受けることができます。
- ・病気や治療の内容について、十分な説明を受けることができます。
- ・十分な説明に基づき、自らの意志で医療内容を選択することができます。
- ・医療上の個人情報や秘密は守られます。
- ・あなたの診療情報の開示を求めることができます。

「患者さまの義務」

- ・ご自身の健康に関する情報を知らせていただきます。
- ・病気や治療の内容について、十分理解するように努力していただきます。
- ・病院のルールを守り、意欲を持って医療に参加していただきます。
- ・他の患者さまの医療を妨害する行為を慎んでいただきます。
- ・医療費を支払う義務があります。

臨床倫理綱領

- 1 病める人々とその家族・関係者の権利を尊重し、信頼関係に基づいた医療を行います。
- 2 十分な説明と同意に基づく、患者さま本意の医療を行います。
- 3 隔離などの行動制限が必要な場合には、それを最小限にとどめるよう努力します。
- 4 医療情報、記録を整備し、決められた基準に従い管理します。これらの情報に関しては、患者さま以外の第三者に対しては、正当な理由なく洩らしません。
- 5 病院医療に関わるあらゆる安全管理に最大限の努力をします。

職員の倫理

- 1 向陽ヶ丘病院の理念、基本方針を自己の行動の規範とします。
- 2 公務員倫理と医の倫理を踏まえ、患者さまの権利を尊重し、希望のもてる医療を実践します。
- 3 仕事に誇りを持ち、すべての患者さまに公平、平等な医療を行います。
- 4 より質の高い医療を提供するため、自己研鑽に努めます。
- 5 患者さまや地域からの信頼を得るよう努めます。

暴力対策指針

この指針は、北海道立向陽ヶ丘病院職員（以下「職員」という。）が暴力の基本を踏まえ、包括的かつ組織的に暴力の予防、対応、再発防止に取り組む方法を指針として示すことによって、職員を暴力から保護し、職員の安全と健康を確保するとともに快適な職場をつくり、もって質の高い安全な医療サービスを提供することを目的とする。

目 次

はじめに

理念、基本方針等

第 1	病院の概要	1
1	性格と機能	1
2	主な事業	1
3	施設概況	1
4	診療概要	1
5	組織機構	2
6	職員数	3
7	院内各種会議・委員会等の設置状況	4
8	会議・委員会等組織図	5
第 2	業務概要	6
1	医局	6
2	看護	7
3	薬局	1 1
4	栄養指導部門	1 2
5	放射線科	1 3
6	臨床検査科	1 4
7	地域連携室、地域連携科	1 5
8	地域連携室 リハビリテーション科（デイケア部門）	1 6
9	地域連携室 リハビリテーション科（作業療法部門）	1 7
10	地域連携室 臨床心理部門	1 8
11	認知症疾患医療センター	1 9
第 3	診療概況	2 0
1	年度別、病棟別入院患者動態	2 0
2	新入院患者の病名別・形態別患者数及び割合	2 2
3	新入院患者の病名別・年齢構成	2 8
4	新入院患者の年齢階層別人数及び割合の年次推移	3 4
5	入院患者の在院期間別人数及び割合	3 5
6	退院患者の退院先別入院期間別人数及び割合	3 6
7	入院患者の居住地別人数及び割合	3 8
8	入院患者の経路別人数及び割合	3 9
9	外来患者数の推移	4 0
10	初診外来患者の病名別分類	4 2
11	外来患者の居住地別人数及び割合	4 3
12	診療時間以外の診療件数内訳	4 4
13-1	精神科救急医療システム実績	4 4
13-2	救急車による患者搬入件数の年次推移	4 4

第4	経営概況	4 5
1	決算状況	4 5
2	経営分析調	4 6
3	診療行為別件数	4 7
4	病床100床当たり職員数	4 8
5	医薬材料使用効率調	4 9
6	給食収益に対する材料費調	4 9
第5	地域支援活動	5 0
1	診療支援	5 0
2	地域の保健、予防活動	5 0
3	講演	5 1
4	自助グループへの支援	5 1
5	グループホームと地域活動支援センターの支援	5 1
6	網走保健所、市町村等との連携	5 1
第6	研修、教育・実習	5 3
1	院内研修開催状況	5 3
2	院外研修会等参加状況	5 3
3	教育、実習の受入	5 5
第7	医療事故等の状況	5 6
1	医療事故等の公表基準	5 6
2	医療事故等の発生状況	5 7
第8	ご意見の概要	5 8
第9	資料(網走の精神保健・医療)	5 9
1	オホーツク総合振興局管内の人口と面積	5 9
2	精神科医療機関の状況	5 9
3	精神保健福祉社会資源	5 9

第1 病院の概要

1 性格と機能

- ・道東北(北網)地域の精神医療の専門病院として、地域医療の公的使命を担っています。
- ・認知症疾患医療センターを設置し、認知症専門医療を実施しています。
- ・精神科デイケアを設置し、社会復帰のための機能を担っています。
- ・訪問看護を実施しています。
- ・精神科救急医療体制(オホーツクブロック)に参加しています。
- ・児童発達外来サテライト診療を実施しています。

2 主な事業

- (1) 入院及び外来患者に対する診療
道立病院として、精神障がい者に対する診療を実施
- (2) 社会復帰活動の実施
訪問看護活動、精神科デイケア、精神科ソーシャルワーク及び入院リハビリテーションを実施
- (3) 精神科救急医療体制への参加
オホーツクブロック精神科救急医療体制事業(緊急時の精神科医療確保のため行っている事業)に参加し、救急医療施設として緊急時に対応
- (4) 認知症専門医療
鑑別診断、急性期治療、専門医療相談の実施
- (5) 臨床研修の実施
臨床研修協力施設として、医師の卒後教育を実施
- (6) 実習学生等の指導
看護学生精神科看護実習等の指導を実施
- (7) 地域の保健・予防活動への支援
他関係機関に協力し、地域の保健予防活動、精神保健の普及活動を支援

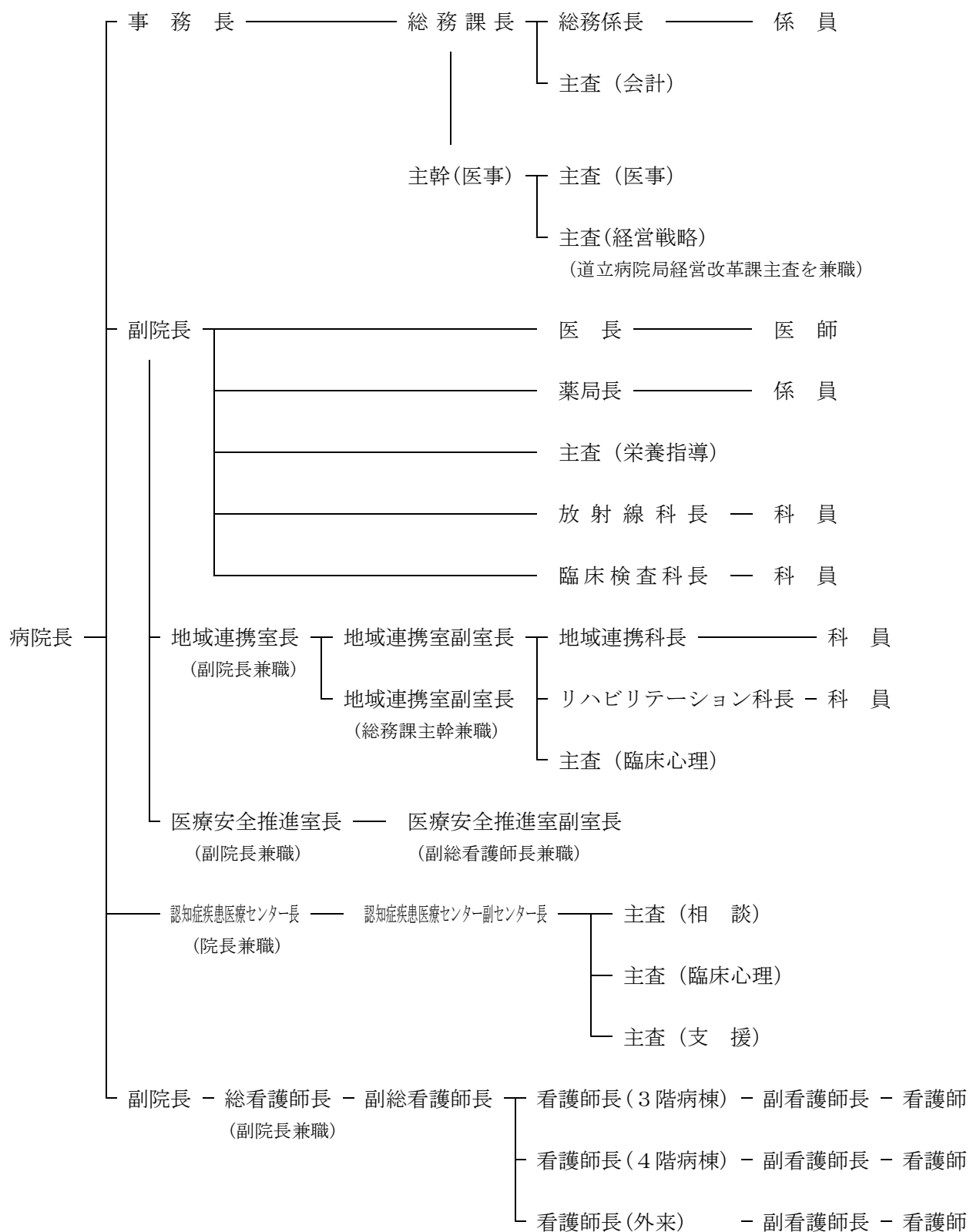
3 施設概況

- (1) 所在地 網走市向陽ヶ丘1丁目5番1号
- (2) 敷地面積 27,220.12㎡
- (3) 施設 病 院 鉄筋コンクリート造4階・地下1階建て
延面積 6,187.95㎡
デイケア棟 鉄筋コンクリート造地上2階・地下1階建て
延面積 886.18㎡

4 診療概要 (2021年4月1日現在)

- (1) 診療科目 精神科・心療内科
- (2) 病床数 105床
3階病棟(開放・閉鎖)56床 4階病棟(閉鎖)49床
- (3) デイケア 定員50名
- (4) 指 定 保険医療機関、生活保護法指定医療機関、国民健康療養取扱機関、
労災保険指定医療機関、応急入院指定医療機関、
結核予防法指定医療機関、精神科救急施設等指定医療機関、
医療観察法指定通院医療機関、指定自立支援医療機関(精神通院医療)
- (5) 看護体制 入院基本料 15:1(看護配置加算70%以上)、看護補助加算1

5 組織機構



(2021年4月1日現在)

6 職 員 数

2021年4月1日現在

職 種 配置箇所		医 師	看 護 師	准 看 護 師	薬 剤 師	放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	管 理 栄 養 士	作 業 療 法 士	心 理 判 定 員	P S W	事 務 職 員	運 転 技 術 員	公 務 舗 員	調 理 員	そ の 他	合 計
医 局		5 (1)															5 (1)
看 護	外 来		7														7
	3 階 病 棟		23														23
	4 階 病 棟		17														17
薬 局					1											(1)	1 (1)
主 査 (栄 養 指 導)								1									1
放 射 線 科						3											3
臨 床 検 査 科							2										2
地 域 連 携 科	地 域 連 携 科	(兼1)	5								1						6
	リハビリテーション科		1						3		1						5
	主査(臨床心理)									1							1
総 務 課												9					9
認 知 症 疾 患 医 療 セ ン タ ー											1						1
合 計		5 (1)	53		1	3	2	1	3	1	3	9				(1)	81 (2)

※ 院長及び副院長は医局に、事務長は総務課、副院長兼総看護師長・副総看護師長は外来に計上

※ ()は、医師は非常勤委嘱医、その他は一般職非常勤職員であり、外数

※ 臨時職員は含まない

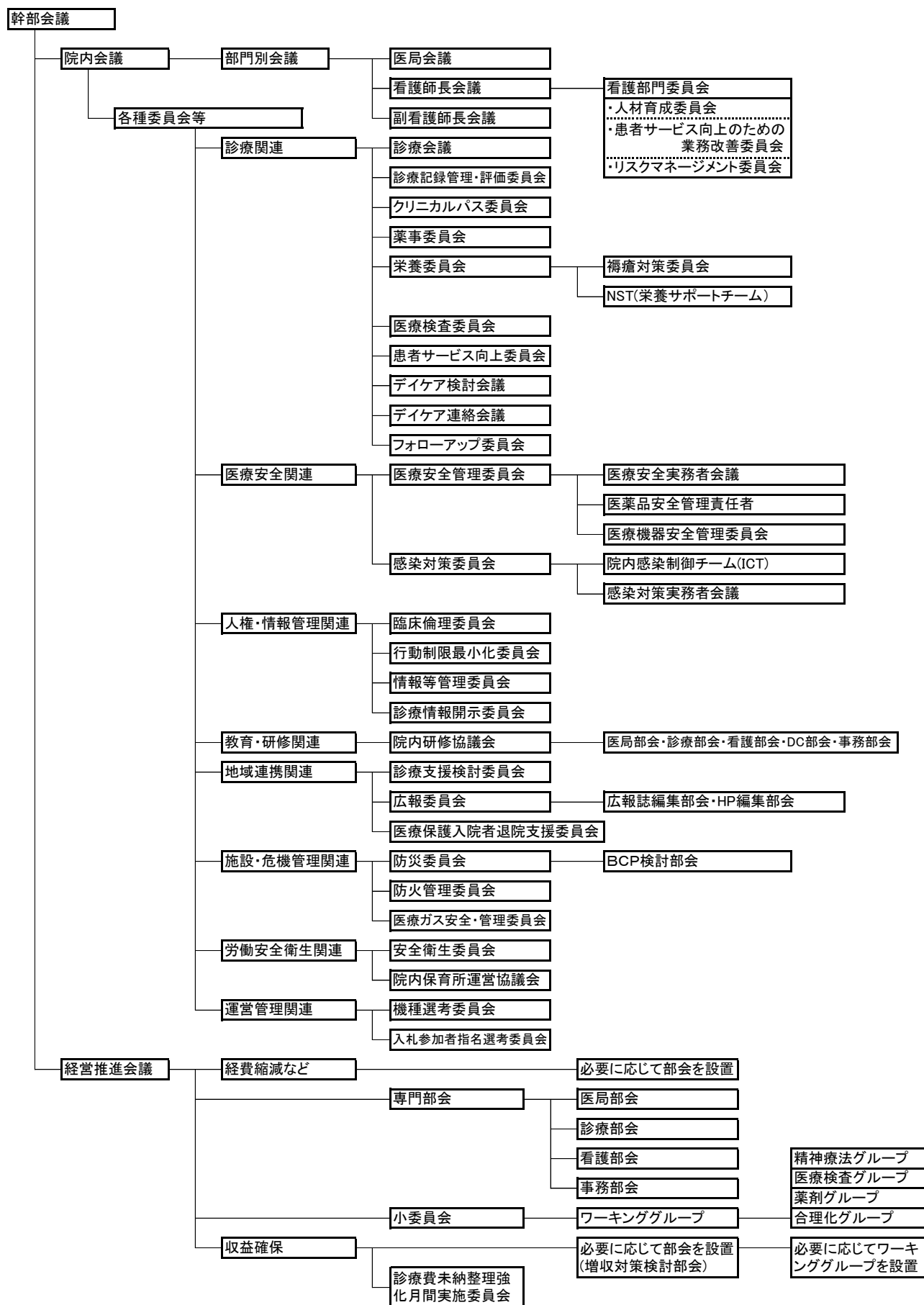
7 院内各種会議・委員会等の設置状況

2021年4月1日現在

名 称	所 掌 事 項
幹 部 会 議	病院の管理運営に関すること
院 内 会 議	病院の運営その他連絡調整に関すること
経 営 推 進 会 議	北海道病院事業改革プランの推進に関すること
増 収 対 策 委 員 会	診療報酬に係る査定等及び新たな加算の取組に関すること
医 局 会 議	医師の業務の連絡調整に関すること
看 護 師 長 会 議	看護業務の管理運営に関すること
副 看 護 師 長 会 議	看護部門の実践業務に関すること
診 療 会 議	医療業務の連絡調整に関すること
診 療 録 管 理 委 員 会	診療記録の作成、保存・管理に関すること
クリニカルパス委員会	クリニカルパスの導入と運用・管理に関すること
薬 事 委 員 会	医薬品の採用、管理その他薬事に関すること
栄 養 管 理 委 員 会	栄養指導、患者給食及び食中毒予防に関すること
褥 瘡 対 策 委 員 会	褥瘡対策に関すること
NST(栄養サポートチーム)	栄養管理対策に関すること
医 療 検 査 委 員 会	医療検査の適正化に関すること
患者サービス向上委員会	患者へのサービスの向上に関すること
デ イ ケ ア 検 討 会 議	デイケア利用者の受入れ、利用促進に関すること
デ イ ケ ア 連 絡 会 議	デイケアの運営に関すること
医 療 安 全 管 理 委 員 会	医療の安全管理対策の総合的な企画、実施に関すること
医 療 安 全 実 務 者 会 議	医療事故の調査、研究その他医療事故の防止に関すること
医 薬 品 安 全 管 理 責 任 者	医薬品の安全管理に関すること
医療機器安全管理委員会	医療機器の安全管理に関すること
感 染 対 策 委 員 会	院内感染防止体制の確立、対策の推進に関すること
感 染 対 策 実 務 者 会 議	院内感染の予防対策に関すること
院内感染制御チーム(ICT)	具体的、実践的院内感染対策の実行
臨 床 倫 理 委 員 会	臨床における倫理に関すること
行 動 制 限 最 小 化 委 員 会	行動制限の適正化の確保と最小化に関すること
情 報 管 理 委 員 会	院内情報の総合的管理に関すること
診 療 情 報 開 示 委 員 会	診療情報の開示に関すること
院 内 研 修 協 議 会	院内研修会の企画・開催に関すること
診 療 支 援 検 討 委 員 会	医療機関への診療支援に関すること
広 報 委 員 会	病院の広報に関すること
フォローアップ委員会	入院・外来患者の地域支援、長期入院患者の退院支援
医療保護入院者退院支援委員会	入院帰化の適正化・退院支援に関すること
診療費未納整理強化月間実施委員会	診療費未納整理強化月間の推進に関すること
防 災 委 員 会	災害や予期しない事象への準備・対応に関すること
B C P 検 討 部 会	病院事業継続計画の推進・見直しに関すること
防 火 管 理 委 員 会	防火管理に関すること
医療ガス安全・管理委員会	医療ガス設備の安全管理に関すること
院内保育所運営協議会	院内保育所の運営に関すること
機 種 選 考 委 員 会	医療機器等の機種の選考に関すること
入札参加者氏名選考委員会	指名競争入札等の参加者の指名選考に関すること

会議・委員会等組織図

2021年4月1日現在



第2 業務概要

1 医 局

現在医師5名（精神保健指定医2名）にて院内の診療に当たっている。その他、個々の症例のカンファレンスに加え、各部署の代表者からなる会議、委員会、ワーキンググループへの参加を通じて、院内の他職種と連携を図っている。

院外においては移動精神保健相談、保健所、看護学院、刑務所などで診療、教育、啓発活動を実践している。長期入院患者の退院を積極的に支援する流れが広まり、地域生活支援センター、地域の保健師、訪問看護ステーション、グループホーム、共同作業所などと連携を取りながら、院外での患者の生活支援を検討し、退院促進にも努めている。

なお、外来診療は主治医制を基本とした予約制を導入しており、待ち時間の短縮並びに診察内容の充実を図っている。

また今後増加が予想される身体合併症をもつ患者への対応を充実させるため非常勤内科医の指導の下、診療体制を充実させた。

(1) 医師配置状況(2021年4月1日現在)

病院長	三上敦大
副院長	幡賢
医長	菱山真広
医長	木津佳彦
医師	尾崎孝爾

(2) 外来診察医(2021年4月1日現在)

曜日	午前 1診	午前 2診	午前 3診	午前 4診	午後 1診	午後 2診
月	三上	幡 (新患)	尾崎	—	—	—
火	三上	幡	菱山 (新患)	—	木津	尾崎
水	三上 (新患)	幡	木津	菱山	—	—
木	三上	木津 (新患)	尾崎	—	幡	菱山
金	—	木津	菱山	尾崎 (新患)	—	—

(3) 担当医(2021年4月1日現在)

外来・デイケア	幡	副院長
3階病棟	尾崎	医師
4階病棟	菱山	医長

2 看 護

(1) 理念

私たち看護職は、心に病を持つ方の健康回復のために支援します。また、地域の医療福祉機関と連携しながら、地域の人々から信頼される医療・看護の提供に努めます。

【方針】

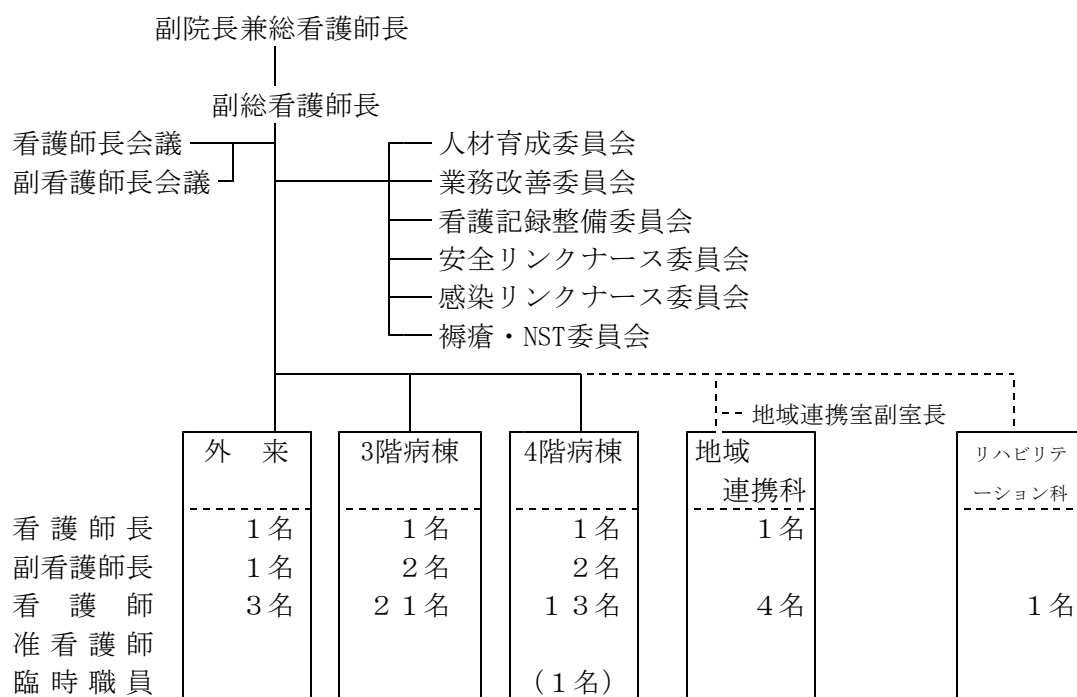
- ・ 看護者の倫理綱領に基づき、心かよう看護を提供します。
- ・ 安全を確保し、心安まる療養環境を整えます。
- ・ 看護の専門性を高め、地域のニーズに応えられる専門職業を目指します。

【目標】

網走管内唯一の精神科病院として専門性の高い看護を提供する。

- ・ 安全で専門性の高い看護サービスを提供する
- ・ セルフケア能力の向上による在宅への移行を支援する
- ・ 情報戦略による組織のイメージアップを強化する

(2) 組織図 (2021年4月1日現在)



(3) 看護体制 (2021年4月1日現在)

看護単位・・・3単位

3 階病棟 開放・閉鎖・・・男女混合 5 6 床

開放 3 3 床 閉鎖 2 3 床

(保護室 1 床、合併症室 1 床 を含む)

4 階病棟 閉鎖・・・男女混合 4 9 床

(保護室 5 床、合併症室 1 床 を含む)

外 来

地域連携室 地域連携科
リハビリテーション科

(4) 勤務体制

病棟・・・3交代制、2交代制、複数夜勤、遅出勤務

(5) 入院基本料

入院基本料 15：1

看護配置加算（看護師70%以上）

看護補助加算 1 30：1

(6) 運営概要

① 看護職員関連

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
離職率（％）	8.8	1.8	5.3	7.5	3.6
平均勤続年数（年）	10.3	10.6	13.0	12.6	12.2
平均年休取得率（％）	31.4	37.2	33.7	22.3	57.2
平均代休取得率（％）	100.0	99.8	100.0	100.0	100.0
病気休暇取得率（％）	0.70	0.97	1.70	0.03	0.01

平均勤続年数は北海道職員採用年から算出する

（年休取得率＝当該年度の取得日数／当該年度の付与日数）前年度からの繰越日数は含まない

（病気休暇取得率＝病気休暇取得日数／その年度の勤務日数×職員数）

② 医療安全関連

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
アクシデント発生率（％） （アクシデント＝レベル2以上）	9.8	13.0	4.9	6.5	4.7
針刺し事故発生件数（件）	1	0	1	0	0
公務災害認定発生件数（件）	1	0	2	0	0
褥瘡発生率（％）	2.27	0.34	0.30	0.81	0.30

* 褥瘡発生率＝当月の褥瘡発生者数／当月の入院患者数＋前月の在院患者数

(6) 病棟の概要

病 棟 名	概 要
3 階病棟	病棟は56床の混合病棟で閉鎖23床、開放33床に分かれている。 閉鎖フロアは主に老年期精神疾患患者が対象であり、吸引・酸素の設備を設置している個室が6室、4床室が4室、ナースステーションに隣接した合併症室が1室あり、内科疾患合併症患者の身体管理も行っている。 患者は認知症の中等度から高度の症状を呈し、周辺症状である行動障害・せん妄の精神症状を伴っており、薬物療法を中心に治療を行っている。生活全般における介助、身体管理、摂食嚥下訓練対象者が多い現状にあり、また、患者の日常生活援助や、認知症の症状による暴力等の対応から、看護師複数名での対応を基本としている。そして、患者の多くは自ら身体不調を訴えることが出来ないため、異常の早期発見、転倒・転落等安全面への配慮に努めている。合併症等による基礎疾患や薬物による副作用などで全身状態が変化しやすい傾向から、日常生活能力の低下防止を目的とした作業療法プログラムを実施している。 患者視点での看護提供を実践するため、パーソン・センタード・ケアを導入している。 開放フロアは、吸引・酸素の設備を設置した個室が5室、その他の個室が7室、4床室が5室、保護室が1室あり、開放時間は8時30分から18時までである。 患者は統合失調症のほか、感情障害、神経症、てんかん、依存症、人格障害などの疾患名であり、多くは閉鎖病棟で急性期治療を終え、退院前のリハビリ目的の転入や、再燃を繰り返す長期入院の統合失調症の患者である。 患者の平均年齢は71.1歳で平均在院日数は135.0日（2020年度）。高齢化に伴い、身体合併症のある患者が増加しており、日々の看護により自己の回復能力を高めるよう支援している。また、セルフケア能力の低下予防と向上を目的に作業療法士と連携し、個別性を考慮した作業療法プログラムの選択と参加を行っている。 退院支援については、患者に適した生活環境提供のため本人・家族と相談し退院前訪問看護の実施や施設職員・ケアマネージャーなど地域関係者との連携を積極的に行い、退院後も患者・家族が安心して生活できるように、他職種カンファレンスを行いながら支援している。
西棟 4 階病棟	保護室5室を有する49床の閉鎖病棟である。患者の70%（2020年度）が統合失調症の患者であり、他には気分障害、神経症、依存症、人格障害、認知症などの方となっている。主に急性期症状を呈している患者や、統合失調症の慢性期でセルフケア能力が低下したり、再燃・緩解を繰り返す病状が不安定な患者の入院治療を行っている。 平均在院日数は140日（2020年度）で、慢性期患者の場合、病状の再燃を繰り返し入院が長期化している。長期入院に伴い、患者や家族の高齢化により、外泊・面会などの機会が減り、社会と接する機会が少なくなっている。また、生活習慣病等の身体疾患や合併症が重なり、セルフケア能力の低下、全身管理の必要な患者が増加し、治療・看護へのニーズが多様化してきている。社会環境の変化に伴い、精神疾患であっても地域で生活できる環境が整備されてきており、疾患教育や地域、他職種と連携し、早期退院に向けた支援を行っている。 また、退院支援として、作業療法やSST（社会生活技能訓練）等、他職種との連携を図り、対人関係能力の向上や日常生活課題の改善に向けて取り組んでいる。デイケアの院内試験通所や退院前訪問看護、地域との連携を実施し、退院後安定した生活が送れるように支援している。

(7) 外来の概要

精神科医療は、入院治療中心から地域で生活することへの支援に変化しており、精神疾患を持ちながらも症状をコントロールし、地域でその人らしく生活できることを目指した生活支援へと外来の役割が拡大されつつある。当院は道東北地域の精神医療の専門病院として、精神科救急医療体制（オホーツクブロック）に参加している。また、認知症疾患医療センターを設置し、認知症専門医療と児童発達外来サテライト診療を実施している。

診療体制は患者サービスの向上を目的とし、新規外来患者、再来患者の完全予約診療を行っている。午前3診療（水曜日のみ4診療）、火・木曜日は午後の診療も行っている。

看護の主な業務は、診療介助、患者・家族相談、院内の医材料一元管理のため中央材料室を担当している。中央材料室業務は、各セクションの医療衛生材料及び器材の管理を行っている。地域との連携では、作業所・共同住居及び保健・福祉関係者とのサポート会議・ヘルパー会議などへの参加、デイケア会議への情報提供、アルコール依存症ミーティング（AA）の支援などを行っている。

3 薬 局

薬局では各部門、保険薬局等と連携し以下の業務に取り組んでいる。

また、2018年度からは訪問薬剤管理指導を開始(2020年度は欠員のため休止)、2020年度からは認知症疾患医療センター主催の出前講話の講師を担当するなど地域に根ざした活動を行っている。

しかしながら、2020年度は常勤薬剤師が1名となったため、他道立病院からの薬剤師の派遣や非常勤職員を迎え業務の運営を行ってきた。

(1) 2020年度 月別業務量

	入院処方			入院注射	外来（院内）			外来注射	持参薬	院外処方	
	枚数	調剤数	延剤数	枚数	枚数	調剤数	延剤数	枚数	枚数	枚数	発行率
4月	305	963	6,841	81	12	27	811	177	118	1,791	99.33
5月	307	1,132	6,476	108	11	24	597	151	108	1,495	99.27
6月	429	1,440	8,939	223	13	27	763	159	136	1,675	99.23
7月	435	1,561	10,373	265	21	54	1,206	166	114	1,801	98.85
8月	401	1,249	8,794	268	12	31	704	151	109	1,573	99.24
9月	415	1,372	9,704	182	20	45	1,172	175	142	1,753	98.87
10月	473	1,603	10,427	240	20	59	1,376	164	129	1,692	98.83
11月	365	1,110	7,642	244	8	49	1,392	194	142	1,619	98.90
12月	420	1,386	9,836	194	18	43	1,092	144	197	1,703	98.95
1月	401	1,286	8,530	142	16	41	1,096	143	94	1,646	99.04
2月	338	1,180	9,498	223	16	34	778	122	62	1,435	98.90
3月	444	1,433	8,062	187	25	53	1,456	162	88	1,901	98.70
合計	4,733	15,711	105,122	2,357	202	487	12,443	1,908	1,439	20,084	99.00

外来患者については原則として院外処方箋を発行し、保険薬局で薬を受領していただく

(2) 外来疑義照会件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	65	36	54	46	64	65	75	60	55	32	49	72	675

薬剤師が担当していたが、2020年1月からは外来看護師とともに対応

(3) 薬剤管理指導業務件数（退院時指導件数を含む）

※（ ）は、退院時指導件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	4	7	10	10	5	7	5	12	11	5	8	1	85
	(4)	(7)	(10)	(10)	(5)	(7)	(5)	(12)	(11)	(5)	(8)	(1)	(85)

常勤薬剤師が1名のため、退院時指導のみ算定

(4) その他

- ・医薬品等の情報提供（Drug news発行）
- ・後発医薬品の使用促進, 一般名処方箋の発行促進
- ・感染対策委員会／医療安全委員会／褥瘡対策委員会／薬事委員会 など

4 栄養指導部門

(1) 業務概況

栄養管理体制は入院基本料に包括評価となっており、当院では入院患者全員に栄養計画及び栄養評価を行っている。

また褥瘡対策チーム・栄養サポートチームの一員として医師や看護師、薬剤師などと連携して褥瘡、低栄養、嚥下障害などに対応している。

患者個々の嚥下状態に合った食事作りに力を入れており、嚥下調整食の基準は日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013年版に準じている。

2016年6月の改築移転に伴い大量調理マニュアルに沿った調理施設となり、衛生管理体制が充実され、またプラストチラー（急速冷却機）の導入により嚥下調整食の調理作業が効率的に行えるようになった。

2020年食事摂取基準の改定に伴い当院食事基準の見直しを行った。新たな取り組みとして終末期や食欲不振の患者対象に嗜好を尊重した食事「なごみ食」を始めた。

(2) 特別食

身体合併症のある患者に特別食を提供している。種類は糖尿病食、肝臓食、腎臓食、膵臓食、貧血食、心臓食、低残渣食などである。

(3) イベント食

行事食として正月、節句、春秋の彼岸などの季節毎の行事食の他、月1回のおやつの日、誕生会には全員にお菓子を提供し、誕生月の方にはバースディカードを添えている。

また選択食は週3回実施しており、メニューを選ぶことで病院食を楽しんで頂いている。

(4) 栄養指導

栄養指導が必要な患者に精神症状などで困難な場合を除き、栄養指導を実施している。高度肥満症、糖尿病、アルコールパスなどが主な指導である。

(5) 食種別給食数(ダイケア食含む)

(単位：食)

	常食	軟菜食	流動食	経管流動	特別食	嚥下調整食	なごみ食	合計
2016年度	27,505	28,071	1,979	2,294	16,068	10,588		86,505
2017年度	26,413	10,688	761	2,582	18,338	15,173		73,955
2018年度	26,374	9,027	1,277	574	11,070	16,265		64,587
2019年度	18,940	8,902	1,812	1,433	10,355	17,493		58,935
2020年度	22,077	10,252	1,547	1,746	10,640	21,054	46	67,362

(6) 1食当たり平均給食数(ダイケア食含む)

(単位：食)

	常食	軟菜食	流動食	経管流動	特別食	嚥下調整食	なごみ食	合計
2016年度	25.1	25.6	1.8	1.8	14.7	9.7		78.7
2017年度	24.1	9.8	0.3	2.8	16.7	13.8		67.5
2018年度	15.0	8.2	1.2	0.5	10.1	14.9		49.9
2019年度	17.3	8.1	1.7	1.3	9.5	16.0		53.9
2020年度	20.2	9.4	1.4	1.6	9.7	19.2	0.1	61.6

(7) 栄養指導件数(個別)

(単位：件)

年 度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
件 数	77	78	88	84	144

5 放射線科

(1) CT検査

CT検査は、初診時における頭部検査が主であるが、合併症を伴う患者にとって胸部及び腹部の検査は重要である。また入院外来共に定期的な検査も行っている。
昨年度と比べ、入院・外来ともに検査数は若干の減少がみられる。

(2) 一般撮影

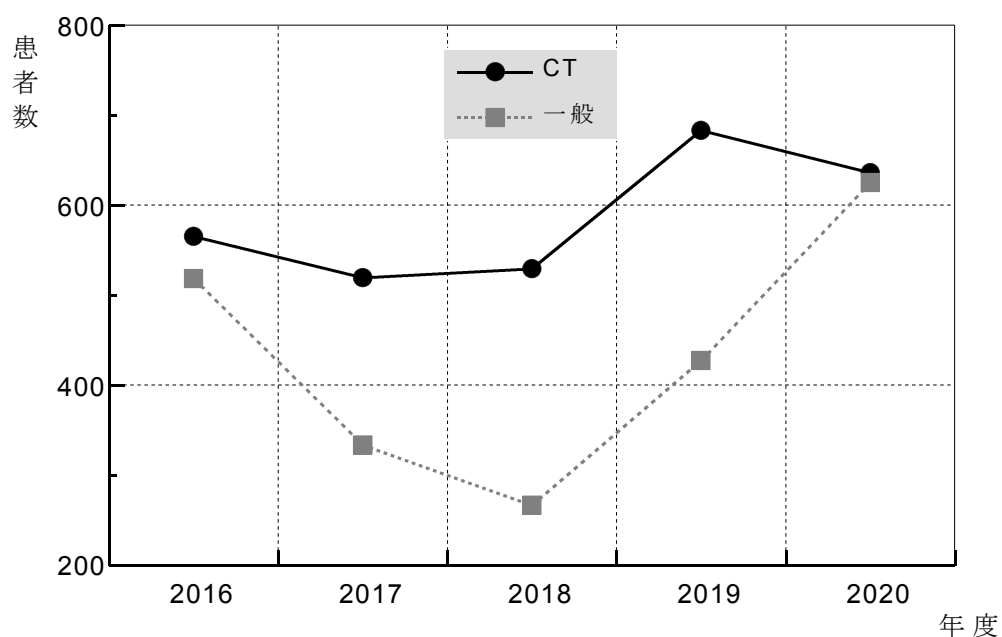
一般撮影検査の主たるものは、入院時における胸部・腹部単純撮影である。
また入院外来共に定期的な検査も行っている。
昨年度と比べ、入院・外来ともに検査数は増加した。特に入院は増加幅が大きかった。

(3) CT・一般X線撮影検査患者数の推移（2016～2020年度 単位：人）

区分	入院・外来	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
CT検査	入院	256	153	157	257	233
	外来	309	366	372	426	403
合 計		565	519	529	683	636
一般撮影	入院	404	227	182	294	463
	外来	114	106	84	133	162
合 計		518	333	266	427	625

表示文字列

CT検査及び一般撮影検査の患者数推移



6 臨床検査科

(1) 臨床検査業務概況

① 過去5年間（2016年～2020年）の臨床検査業務

検査業務全般は2016年から昨年度までの4年間で、入院患者の減少などにより総検査件数が86214件から85160件へと減少したが、今年度は対前年度比で約3.9%程度の増加となった。

② 2020年度の臨床検査業務

2016年度から血中薬物濃度検査件数の推移は622件、1216件、1488件、1296件、1197件であった。
2017年7月より外来患者の血中薬物濃度などの検査増の推進を行い、成果が現れてきているので継続していきたい。

(2) 年度別臨床検査件数

年度	区分	生化学	免疫	血液	尿・便	細菌	薬物	生理検査			その他	合計
								脳波	心電図	その他		
2016	院内	61050	2976	18428	2075	12	573	34	303	7	7	85465
	委託	561	9	0	0	130	49	0	0	0	0	749
	合計	61611	2985	18428	2075	142	622	34	303	7	7	86214
2017	院内	50764	2207	16710	1795	14	972	25	189	3	0	72679
	委託	648	21	0	0	176	244	0	0	0	0	1089
	合計	51412	2228	16710	1795	190	1216	25	189	3	0	73768
2018	院内	56178	1816	17242	1948	1	1116	12	238	6	0	78557
	委託	771	17	0	0	35	372	0	0	0	0	1195
	合計	56949	1833	17242	1948	36	1488	12	238	6	0	79752
2019	院内	60753	1673	17491	2862	0	980	16	213	3	0	83991
	委託	552	36	60	5	200	316	0	0	0	0	1169
	合計	61305	1709	17551	2867	200	1296	16	213	3	0	85160
2020	院内	62642	1968	18039	2750	0	902	35	239	5	0	86580
	委託	1126	36	149	2	284	295	0	0	0	0	1892
	合計	63768	2004	18188	2752	284	1197	35	239	5	0	88472

7 地域連携室

(1) 地域連携室業務概況

地域連携室は平成 29 年 4 月 1 日に地域連携科と共に設置された。令和 3 年 4 月 1 日現在、地域連携室は室長（副院長）、副室長 2 名、地域連携科長、地域連携科（看護師 4 名、精神保健福祉士 1 名）で構成されている。地域連携室業務では地域連携室副室長、精神保健福祉士が地域連携窓口となり対応している。地域連携科は主に訪問看護業務を中心としながら、地域の多職種会議への参加等を行い地域連携業務を行っている。地域連携室は地域の精神科医療のニーズを把握し、他の医療機関、関係施設、地域の多職種と連携強化を図り、患者が安心して地域で暮らすための精神科医療の提供を行っている。

【主な業務内容】

- ① 相談業務、前方支援、後方支援業務、医療観察制度対象者への支援等がある。

主な相談として地域の医療機関、居宅介護支援事業所、家族等からの病状に関する相談を受け、緊急性を判断し必要時医師と連携を図り、受診調整、関係機関との情報共有を行っている。後方支援では措置入院患者退院支援及び医療保護入院患者退院支援で、自治体や地域と連携し多職種との会議、カンファレンス等の調整・参加、本人・家族のニーズに沿った意思決定支援を行っている。

主な支援件数（2020 年度）

内 容	実施件数	内 容	実施件数
入院患者相談	2,386	他機関との連携	3,787
外来患者（家族）相談	2,996	地域移行支援	0

- ② 広報活動として斜網地域及び近隣の関係機関（12 件）への訪問や医療福祉連携に関する会議に参加し、地域連携室の説明や復職プログラムの案内等を行っている。また、病院パンフレット及び患者向けパンフレットの修正、復職プログラムパンフレットの作成、院内マニュアルの改定等を行っている。

(2) 地域連携科の業務概況

訪問看護業務を行い、患者が安心して地域生活を継続できるよう院内及び地域の多職種と連携を図り、患者家族の思いに沿い、患者家族のストレングスを大切にした患者参加型看護計画の立案、目標共有を図り看護ケアを提供している。訪問看護は平日に 5 日間、1 日平均 11 ～ 15 件、訪問範囲は網走市内の他に大空町・美幌町・斜里町・小清水町・清里町などの市外訪問も実施している。2020 年 4 月 1 日現在、150 名の患者が利用されている。

訪問内容として病状の観察、服薬管理・通院状況、日常生活、金銭管理等についての相談や支援を行っている。また、院外他職種である作業所・共同住居・保健福祉関係者との情報共有を行い、その他、患者サポート会議（年 12 回）・ヘルパー会議（年 6 回）・デイケア会議（年 12 回）に参加している。院内においては病棟、外来との連絡会議、病棟カンファレンスの参加、病棟看護師との退院前訪問等を実施し、入院患者が安心して在宅生活に移行できるよう支援している。

訪問看護件数の推移

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
訪問看護件数	2,125	2,472	2,562	2,811	3,195
月平均（件数）	177	206	214	234	266

8 地域連携室 リハビリテーション科（デイケア部門）

当院デイケアは、オホーツク医療圏では初めて開設され、1996年7月1日に本格的に活動が開始された。2008年4月からは、デイケアショート利用を導入し、デイケアの半日利用を可能にすることにより、患者の利便性の向上を図っている。2012年1月から水曜日も通所日にあて、平日の毎日通所（週5日）となった。

施設区分は、「病院併設型・大規模デイケア」とされ、定員50名となっている。

スタッフは、医師（兼務）1名、看護師1名、精神保健福祉士1名、作業療法士2名、の合計5名で構成され、加えてプログラム講師7名を外部に委嘱している。2004年度より固定ボランティアを導入、現在2名が在籍している。

(1) 通所者（メンバー）

表1 利用者数

（単位：日、人）

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
開 所 日 数	242	244	243	235	243
延 べ 通 所 者 数	7,640	7,045	6,256	5,528	5,841
1 日 平 均 通 所 者 数	31.6	28.9	25.7	23.5	24.0
新 規 登 録 者 数	3	4	5	3	21
登 録 者 数	80	78	75	67	88
男 性	56	52	52	46	60
女 性	24	26	23	21	28

表2 疾病別

（単位：人）

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
統 合 失 調 症	66	64	61	54	60
躁 う つ 病	2	2	2	2	2
て ん か ん	1	1	1	0	1
薬 物 依 存	1	0	0	0	0
非 定 型 精 神 病	0	0	0	0	0
そ の 他	10	11	11	11	25

(2) デイケアプログラム

木曜午後は月に1回、「グループミーティング」、「茶道」「食と健康の講座」（管理栄養士の話）を実施しており、グループ活動の中で、毎日「ダンベル体操」を行っている。これまでは、統合失調症を中心とした退院支援の受け入れが多かったが、2020年度から、主にうつ病等で仕事を退職または休職している方を対象とした「復職プログラム」を導入した。

表3 週間プログラム(2021年4月現在)

	月	火	水	木	金
9:00	朝 の 会	朝 の 会	朝 の 会	朝 の 会	朝 の 会
10:00	陶 芸	絵 画	やさしい体操	健 康 運 動	グループ活動
12:00	グループ活動	グループ活動	グループ活動	自 主 活 動	復職プログラム
	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩
13:00	生活向上 復職プログラム	全体ミーティ ング、おはな しクラブ	手 芸 グループ活動	週替プログ ラム	七 宝 グループ活動
15:00			復職プログラム	グループ活動	
16:00	終わりの会	終わりの会	終わりの会	終わりの会	終わりの会

9 地域連携室 リハビリテーション科（作業療法部門）

当院での精神科作業療法は、1994年7月に承認を得て開始となる。

医師（兼務）1名、作業療法士1名、助手（非常勤職員）1名で構成されていたが非常勤職員の退職に伴い助手の配置が2015年3月で終了となった。

作業療法の週間プログラムは、作業療法士が中心となって病棟内で行うものと、講師と共に生活療法室や訓練棟など病棟以外の場所で行うものがある。以前は月に2～3回の講師指導日のみの変則的な活動だったが、2002年4月以降は毎週実施となる。

2008年は第4病棟休床に伴い週間プログラムを変更し、定期的にカンファレンスを実施する状況となった。2009年には高齢者の増加に伴い転倒予防のプログラムとして「ふまねっと運動」を導入した。病棟看護師で実施していたSSTだが2015年から作業療法士も加わるようになりグループホームやケアホームなどの施設を見学するなどし長期入院者が退院後の生活を現実的に考えられるよう取り組んだ。

改築移転にあわせ2016年6月から週間プログラム変更、年齢や状態に合わせ参加しやすいよう構成した。

2017年度から組織機構が変わり作業療法科から地域連携室リハビリテーション科作業療法部門となる。

表1 週間プログラム(2021年4月現在)

	月	火	水	木	金
9:45	4F 創作活動	体力作り	悠々音楽会	悠々創作活動	創作活動
11:45					
14:00					
16:00	調理	悠々体操	生活力向上	4F音楽会	4F グループ活動

表2 活動状況

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
開催日数		224	223	227	222	240
参加数		4,813	5,088	4,781	4,532	5,330
算定数		4,380	4,558	4,261	4,051	4,807
一 日 平 均	参加数	21.5	22.8	21.0	20.4	22.3
	算定数	19.6	20.4	18.7	18.2	20.1

10 地域連携室 臨床心理部門

臨床心理業務は、心理学の知識や技法をベースとして、患者の心理・行動面の障害の治療や援助を行うものである。具体的には以下のとおり、心理アセスメントの一つとしての心理検査や各種の心理療法の提供などが挙げられる。

認知症疾患医療センターの配属として、もの忘れ外来にて認知症の鑑別診断や認知機能の確認のための認知機能検査を行う他に、一般外来や入院患者に対しても認知機能検査を実施している。また、認知症以外の患者に対しても知能検査や人格検査などの心理検査やカウンセリング業務を行っている。

さらに、平成15年度から継続している児童発達外来サテライト診療として、対象者や家族への対応を継続している。

(1) 心理検査 及び 認知機能検査

心理検査は、知能検査を中心に、各種人格検査や認知機能検査を実施することで、診断や治療、リハビリテーション等のための重要な情報の一つになる。

認知機能検査は、認知症の鑑別診断として、また認知機能の程度を把握していくため、限られた時間内に患者の負担少なく効率よく行うよう、検査バッテリーの組み方を検討しながら実施している。

表1 今年度実施した主な心理検査

WAIS-Ⅲ成人知能検査	WISC-Ⅲ知能検査	WISC-Ⅳ知能検査
PF-スタディ	ベンダーゲシュタルトテスト	AQ
CAARS	Y-G性格検査	バウムテスト
PARS-TR	Conners 3	

今年度実施した認知機能検査

ADAS	ベントン視覚記銘検査	前頭葉機能検査(FAB)
時計描画テスト	ノイズパレイドリアテスト	HDS-R

表2 心理検査件数

(人)

	認知症検査				一般心理検査			合計
	外来	もの忘れ外来	入院	小計	外来	入院	小計	
2018年度	0	164	11	175	83	14	97	272
2019年度	4	149	3	156	85	27	112	268
2020年度	1	185	22	208	129	24	153	361

(2) 個人心理療法

個人心理療法は、支持的カウンセリングを主体に、認知行動療法的技法などを取り入れながら実施している。対象者は主に統合失調症圏以外の患者であり、就学・就労中の方もいる。月1回～2回の頻度で実施し、自分自身を客観的に捉えていく自己分析力を高め、コーピング力を身につけていくことを目標としている。

表3 個人心理療法の件数

	外来患者	入院患者	合計
2018年度	108	0	108
2019年度	95	0	95
2020年度	78	5	83

(3) 児童発達外来サテライト診療

発達障害圏の5名の対象者に対して、毎月第4木曜日に継続実施している。主に母親に対して、対象となるお子さんの日常生活行動に対する対応の仕方等についての指導が中心となっている。

実施回数：12回 24件

11 認知症疾患医療センター

北海道立向陽ヶ丘病院認知症疾患医療センターは、オホーツク第三次保健医療福祉圏における認知症疾患の保健医療水準向上を図るためのものであり、具体的には保健・医療・福祉・介護機関等と連携し、鑑別診断、急性期医療、専門医療相談等を実施するとともに、関係者への研修等を行っている。

<実績>

1 もの忘れ外来における診療について

単位：人

	新規患者	専門医療相談	急性期入院	医療機関からの紹介
2018 年度	204	365	10	94
2019 年度	198	346	10	71
2020 年度	237	427	15	95

2 もの忘れ外来新規患者各内訳

1) 居住地

単位：人（％）

	網走市	斜里町	清里町	小清水町	大空町	その他
2018 年度	91(45)	27(13)	15(8)	15(7)	19(9)	37(18)
2019 年度	115(58)	23(12)	12(6)	9(4)	14(7)	25(13)
2020 年度	135(57)	21(9)	17(7)	21(9)	14(6)	29(12)

2) 年齢

単位：人（％）

	～59	60～	70～	80～	90～
2018 年度	7(3)	24(12)	69(34)	90(44)	14(7)
2019 年度	6(3)	22(11)	62(31)	78(40)	30(15)
2020 年度	6(3)	23(10)	85(36)	95(39)	28(12)

3) 疾患

単位：人（％）

	アルツハイマー型 認知症	血管性 認知症	前頭側頭型 認知症	レビー小体型 認知症	軽度 認知障害	その他
2018 年度	86(42)	5(2)	3(2)	8(4)	19(9)	83(41)
2019 年度	79(40)	8(4)	1(1)	5(3)	23(11)	82(41)
2020 年度	83(35)	13(6)	－	8(3)	24(10)	109(46)

3 専門医療相談内容

単位：人（％）

	もの忘れ外来受診	病状・症状	その他
2018 年度	227(62)	35(10)	103(28)
2019 年度	238(69)	25(7)	83(24)
2020 年度	264(61)	67(16)	96(23)

4 地域啓蒙活動について

- 1) 老人クラブ各会員等 1 件（網走市嘉多山光寿クラブ）
- 2) 地域住民向け講演会 1 件（網走市潮見が丘町内会いちょうクラブ）

5 研修会の開催について

- 1) 研修会講師派遣 1 件（令和 2 年度 網走市市民後見人養成研修会）
- 2) 医療及び介護関係者等への研修会（書面開催）2 件（認知症の人の様々な拒否の要因と対応方法について他）

第3 診療概況

1) 年度別、病棟別入院患者動態

(入院患者数、1日平均患者数、入退院患者数、病床利用率、平均在院日数)

	病棟 (病床数)	区 分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
旧 病 院	第1病棟 (35)	延入院患者数	1,679				
		1日平均患者数	21.0				
		入院患者数	12				
		退院患者数	11				
		病床利用率	60.0				
		平均在院日数	145.0				
	第2病棟 (57)	延入院患者数	2,302				
		1日平均患者数	28.8				
		入院患者数	10				
		退院患者数	18				
		病床利用率	50.5				
		平均在院日数	163.1				
	第3病棟 (54)	延入院患者数	2,502				
		1日平均患者数	31.3				
		入院患者数	23				
		退院患者数	13				
		病床利用率	57.9				
		平均在院日数	138.3				
新 病 院	西棟 3階病棟 (56)	延入院患者数	10,891	11,600	9,483	9,760	10,816
		1日平均患者数	38.2	31.8	26.0	26.7	29.6
		入院患者数	73	47	52	54	79
		退院患者数	100	73	67	62	80
		病床利用率	68.2	56.8	46.4	47.6	52.9
		平均在院日数	124.8	192.1	158.3	167.2	147.4
	西棟 4階病棟 (49)	延入院患者数	10,713	12,533	10,343	9,783	11,295
		1日平均患者数	37.6	34.3	28.3	26.7	30.9
		入院患者数	83	71	62	61	88
		退院患者数	60	65	48	60	72
		病床利用率	76.7	70.1	57.8	54.6	63.2
		平均在院日数	149.0	183.4	187.2	160.7	166.5
合 計		延入院患者数	28,087	24,133	19,826	19,543	22,111
		1日平均患者数	77.0	66.1	54.3	53.4	60.6
		入院患者数	201	118	114	115	167
		退院患者数	202	138	115	122	152
		病床利用率	67.5	58.0	51.7	50.9	57.7
		平均在院日数	138.4	187.5	172.1	163.9	137.7

※ 旧病院体制（146床）、2016年6月20日より新病院体制（105床）

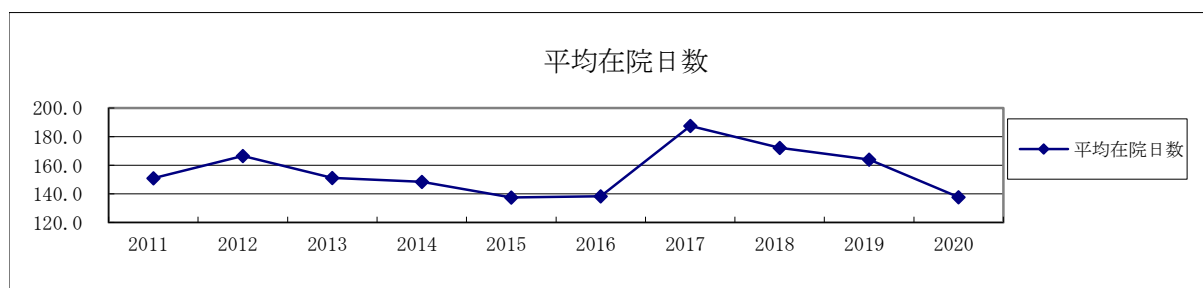
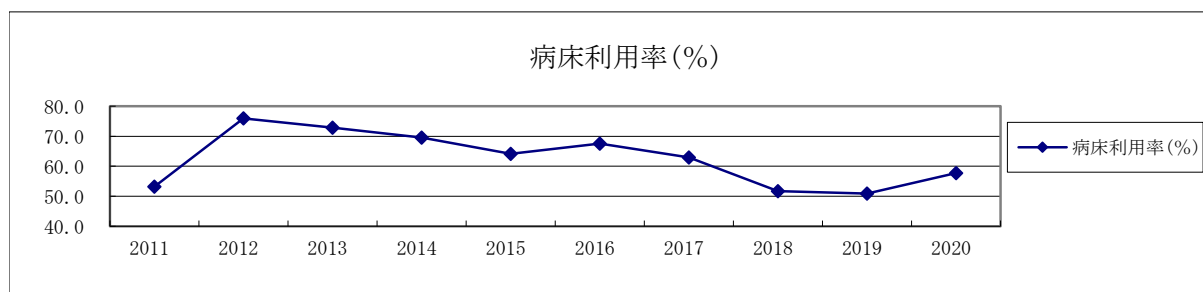
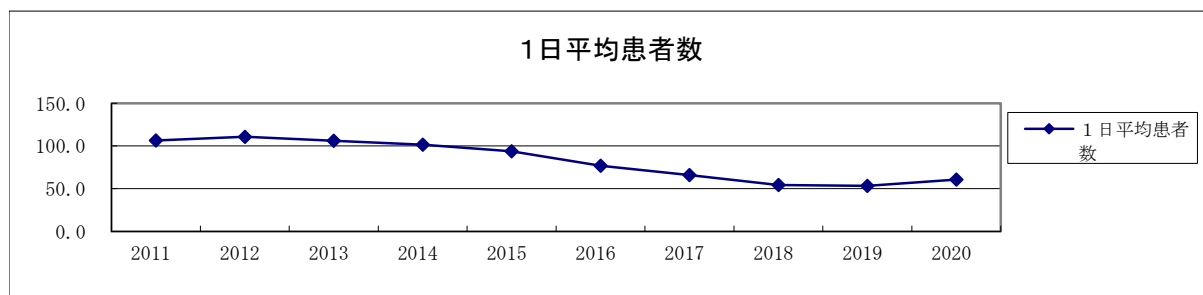
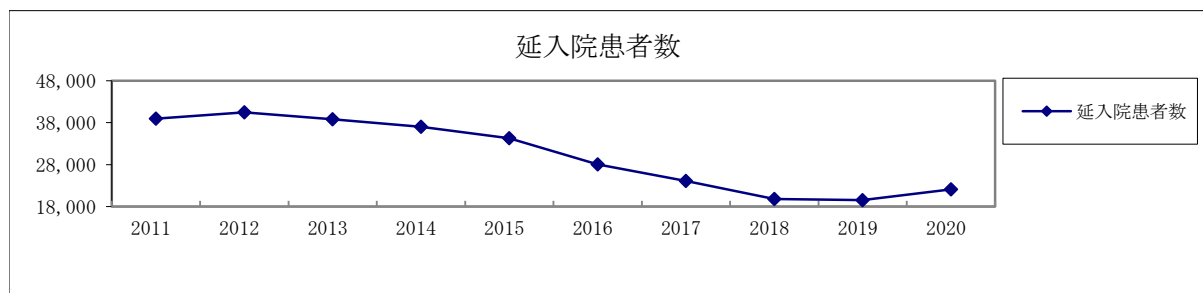
年 間 の 患 者 動 態

延入院患者数・1日平均患者数・入院患者数・病床利用率・平均在院日数 (2011～2020年度)

区分	延入院患者数	1日平均患者数	入院患者数	退院患者数	病床利用率(%)	平均在院日数
2011	38,960	106.4	258	255	53.2	150.9
2012	40,467	110.9	238	245	75.9	166.6
2013	38,801	106.3	254	256	72.8	151.2
2014	37,054	101.5	251	245	69.5	148.4
2015	34,283	93.7	233	262	64.2	137.5
2016	28,087	77.0	201	202	67.5	138.4
2017	24,133	66.1	118	138	63.0	187.5
2018	19,826	54.3	114	115	51.7	172.1
2019	19,543	53.4	115	122	50.9	163.9
2020	22,111	60.6	167	152	57.7	137.7

(注) 1 2012年3月15日、許可病床数が200床から146床へ変更

(注) 2 2016年6月20日、許可病床数が146床から105床へ変更



2-1 新入院患者の病名別・形態別患者数及び割合
2016年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 意 入 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		33	4		37
F01 血管性認知症		13	1		14
F02 その他の疾患による認知症		2	1		3
F05 せん妄		5	1		6
F0 (上記以外の疾患)		5	1		6
F10 アルコール使用による障害		4	2		6
F1 (上記以外の疾患)		2			2
F20 統合失調症	1	41	25		67
F2 (上記以外の疾患)		1			1
F30 躁病エピソード					
F31 双極性感情障害		9	4		13
F32 うつ病エピソード		7	9		16
F33 反復性うつ病性障害			2		2
F3 (上記以外の疾患)		1			1
F40 恐怖性不安障害					
F41 他の不安障害		3	5		8
F42 強迫性障害					
F43 重度ストレス反応及び適応障害		1			1
F44 解離性(転換性)障害					
F45 身体表現性障害		1	1		2
F4 (上記以外の疾患)					
F50 摂食障害		1			1
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害		3			3
F7 精神遅滞		3	2		5
F84 広汎性発達障害		2			2
F8 (上記以外の疾患)					
F90 多動性障害					
F9 (上記以外の疾患)					
G40 てんかん		4	1		5
その他					
合 計	1	141	59		201
構成比%	0.5	70.1	29.4		100.0

2017年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 意 入 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		15	5		20
F01 血管性認知症		3			3
F02 その他の疾患による認知症		1	1		2
F05 せん妄		3	1		4
F0 (上記以外の疾患)		5			5
F10 アルコール使用による障害		4			4
F1 (上記以外の疾患)		2			2
F20 統合失調症	1	23	23		47
F2 (上記以外の疾患)		3	1		4
F30 躁病エピソード					
F31 双極性感情障害		2	2		4
F32 うつ病エピソード		1	5		6
F33 反復性うつ病性障害		2	2		4
F3 (上記以外の疾患)					
F40 恐怖性不安障害					
F41 他の不安障害			3		3
F42 強迫性障害					
F43 重度ストレス反応及び適応障害			1		1
F44 解離性（転換性）障害		2	1		3
F45 身体表現性障害					
F4 (上記以外の疾患)					
F50 摂食障害		1			1
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害		1			1
F7 精神遅滞		2	1		3
F84 広汎性発達障害					
F8 (上記以外の疾患)					
F90 多動性障害					
F9 (上記以外の疾患)					
G40 てんかん		1			1
その他					
合 計	1	71	46		118
構成比%	0.8	60.2	39.0		100.0

2018年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 意 入 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		12			12
F01 血管性認知症		2			2
F02 その他の疾患による認知症		1			1
F05 せん妄		4			4
F0 (上記以外の疾患)		4	3		7
F10 アルコール使用による障害		2			2
F1 (上記以外の疾患)					
F20 統合失調症	4	24	18		46
F2 (上記以外の疾患)	1	4	1		6
F30 躁病エピソード					
F31 双極性感情障害	2	3	3		8
F32 うつ病エピソード		3	1		4
F33 反復性うつ病性障害					
F3 (上記以外の疾患)			1		1
F40 恐怖性不安障害		1			1
F41 他の不安障害		3	1		4
F42 強迫性障害					
F43 重度ストレス反応及び適応障害		1	2		3
F44 解離性(転換性)障害		1			1
F45 身体表現性障害					
F4 (上記以外の疾患)			1		1
F50 摂食障害		1			1
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害		1			1
F7 精神遅滞		1			1
F84 広汎性発達障害					
F8 (上記以外の疾患)					
F90 多動性障害					
F9 (上記以外の疾患)					
G40 てんかん		1			1
その他		5	2		7
合 計	7	74	33		114
構成比%	6.1	64.9	28.9		100.0

2019年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 意 入 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		14	3		17
F01 血管性認知症		4	2		6
F02 その他の疾患による認知症					
F05 せん妄		3			3
F0 (上記以外の疾患)		4	1		5
F10 アルコール使用による障害		4	2		6
F1 (上記以外の疾患)		1			1
F20 統合失調症	2	19	16		37
F2 (上記以外の疾患)		2	4		6
F30 躁病エピソード					
F31 双極性感情障害		7	3		10
F32 うつ病エピソード		1	7		8
F33 反復性うつ病性障害			1		1
F3 (上記以外の疾患)		1	1		2
F40 恐怖性不安障害					
F41 他の不安障害			3		3
F42 強迫性障害					
F43 重度ストレス反応及び適応障害					
F44 解離性（転換性）障害		2			2
F45 身体表現性障害			1		1
F4 (上記以外の疾患)					
F50 摂食障害					
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害			1		1
F7 精神遅滞		2			2
F84 広汎性発達障害					
F8 (上記以外の疾患)		1			1
F90 多動性障害					
F9 (上記以外の疾患)					
G40 てんかん					
その他		2	1		3
合 計	2	67	46		115
構成比%	1.7	58.3	40.0		100.0

2020年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 意 入 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		22	2		24
F01 血管性認知症		7			7
F02 その他の疾患による認知症		4	2		6
F05 せん妄		10	1		11
F0 (上記以外の疾患)		12	2		14
F10 アルコール使用による障害		6	1		7
F1 (上記以外の疾患)		2			2
F20 統合失調症	1	21	17		39
F2 (上記以外の疾患)		7	5		12
F30 躁病エピソード					
F31 双極性感情障害		2	4		6
F32 うつ病エピソード		7	6		13
F33 反復性うつ病性障害					
F3 (上記以外の疾患)					
F40 恐怖性不安障害					
F41 他の不安障害			3		3
F42 強迫性障害					
F43 重度ストレス反応及び適応障害		1			1
F44 解離性（転換性）障害		1			1
F45 身体表現性障害		2	5		7
F4 (上記以外の疾患)					
F50 摂食障害		1			1
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害					
F7 精神遅滞		6	1		7
F84 広汎性発達障害					
F8 (上記以外の疾患)					
F90 多動性障害					
F9 (上記以外の疾患)		1			1
G40 てんかん					
その他		3	2		5
合 計	1	115	51		167
構成比%	0.6	68.9	30.5		100.0

2－2 新入院患者の入院形態別人数と構成割合の年次推移

	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
措置入院	1	0.5%	1	0.8	7	6.1	2	1.7	1	0.6
医療保護入院	141	70.1	71	60.2	74	64.9	67	58.3	115	68.9
任意入院	59	29.4	46	39.0	33	28.9	46	40.0	51	30.5
その他										
合 計	201	100	118	100	114	100	115	100	167	100

3-1 新入院患者の病名別・年齢構成
2016年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全							体	
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～	合計	占有率 (%)
F00 アルツハイマー型認知症						3	34	37	18.4
F01 血管性認知症				1	1	2	10	14	7.0
F02 その他の疾患による認知症							3	3	1.5
F05 せん妄				1		1	4	6	3.0
F0 (上記以外の疾患)						4	2	6	3.0
F10 アルコール使用による障害						4	2	6	3.0
F1 (上記以外の疾患)				2				2	1.0
F20 統合失調症			15	15	15	11	11	67	33.3
F2 (上記以外の疾患)						1		1	0.5
F30 躁病エピソード									
F31 双極性感情障害		2		1	2	2	6	13	6.5
F32 うつ病エピソード		1	2	2	2	4	5	16	8.0
F33 反復性うつ病性障害						1	1	2	1.0
F3 (上記以外の疾患)				1				1	0.5
F40 恐怖性不安障害									
F41 他の不安障害		4		1		1	2	8	4.0
F42 強迫性障害									
F43 重度ストレス反応及び 適応障害			1					1	0.5
F44 解離性（転換性）障害									
F45 身体表現性障害							2	2	1.0
F4 (上記以外の疾患)									
F50 摂食障害		1						1	0.5
F51 非器質性睡眠障害									
F5 (上記以外の疾患)									
F6 成人のパーソナリティ及び 行動の障害		3						3	1.5
F7 精神遅滞		1		3		1		5	2.5
F84 広汎性発達障害		2						2	1.0
F8 (上記以外の疾患)									
F90 多動性障害									
F9 (上記以外の疾患)									
G40 てんかん		2			1	1	1	5	2.5
その他									
合 計		16	18	27	21	36	83	201	100.0
構成比%		8.0	9.0	13.4	10.4	17.9	41.3	100.0	

2017年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全							体	
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～	合計	占有率 (%)
F00 アルツハイマー型認知症				1	1	2	16	20	16.9
F01 血管性認知症						1	2	3	2.5
F02 その他の疾患による認知症							2	2	1.7
F05 せん妄							4	4	3.4
F0 (上記以外の疾患)						2	3	5	4.2
F10 アルコール使用による障害					1		3	4	3.4
F1 (上記以外の疾患)				2				2	1.7
F20 統合失調症	1	3	3	6	14	14	6	47	39.8
F2 (上記以外の疾患)		1		1		1	1	4	3.4
F30 躁病エピソード									
F31 双極性感情障害				1		2	1	4	3.4
F32 うつ病エピソード		1		1	2	1	1	6	5.1
F33 反復性うつ病性障害							4	4	3.4
F3 (上記以外の疾患)									
F40 恐怖性不安障害									
F41 他の不安障害		1					2	3	2.5
F42 強迫性障害									
F43 重度ストレス反応及び 適応障害		1						1	0.8
F44 解離性（転換性）障害	2			1				3	2.5
F45 身体表現性障害									
F4 (上記以外の疾患)									
F50 摂食障害							1	1	0.8
F51 非器質性睡眠障害									
F5 (上記以外の疾患)									
F6 成人のパーソナリティー及び 行動の障害			1					1	0.8
F7 精神遅滞		1	2					3	2.5
F84 広汎性発達障害									
F8 (上記以外の疾患)									
F90 多動性障害									
F9 (上記以外の疾患)									
G40 てんかん							1	1	0.8
その他									
合 計	3	8	6	13	18	23	47	118	100.0
構成比%	2.5	6.8	5.1	11.0	15.3	19.5	39.8	100.0	

2018年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全							体	
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～	合計	占有率 (%)
F00 アルツハイマー型認知症						1	13	14	12.3
F01 血管性認知症							2	2	1.8
F02 その他の疾患による認知症						2	3	5	4.4
F05 せん妄					1		3	4	3.5
F0 (上記以外の疾患)						2	4	6	5.3
F10 アルコール使用による障害						1	1	2	1.8
F1 (上記以外の疾患)									
F20 統合失調症		3	5	9	6	16	7	46	40.4
F2 (上記以外の疾患)		1		1		1	3	6	5.3
F30 躁病エピソード									
F31 双極性感情障害			1		1	4	2	8	7.0
F32 うつ病エピソード			1		1		2	4	3.5
F33 反復性うつ病性障害									
F3 (上記以外の疾患)							1	1	0.9
F40 恐怖性不安障害									
F41 他の不安障害			1	1		2	1	5	4.4
F42 強迫性障害									
F43 重度ストレス反応及び 適応障害	1			1	1			3	2.6
F44 解離性（転換性）障害		1						1	0.9
F45 身体表現性障害									
F4 (上記以外の疾患)				1				1	0.9
F50 摂食障害							1	1	0.9
F51 非器質性睡眠障害									
F5 (上記以外の疾患)									
F6 成人のパーソナリティー及び 行動の障害					1			1	0.9
F7 精神遅滞		1						1	0.9
F84 広汎性発達障害									
F8 (上記以外の疾患)									
F90 多動性障害									
F9 (上記以外の疾患)									
G40 てんかん			1					1	0.9
その他							2	2	1.8
合 計	1	6	9	13	11	29	45	114	100.0
構成比%	0.9	5.3	7.9	11.4	9.6	25.4	39.5	100.0	

2019年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全 体								
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～	合計	占有率 (%)
F00 アルツハイマー型認知症							17	17	14.8
F01 血管性認知症							6	6	5.2
F02 その他の疾患による認知症									
F05 せん妄							3	3	2.6
F0 (上記以外の疾患)							5	5	4.3
F10 アルコール使用による障害				1		2	3	6	5.2
F1 (上記以外の疾患)							1	1	0.9
F20 統合失調症	1	1	4	8	7	11	5	37	32.2
F2 (上記以外の疾患)			1	1		1	3	6	5.2
F30 躁病エピソード									
F31 双極性感情障害				2	1	2	5	10	8.7
F32 うつ病エピソード			3		2		3	8	7.0
F33 反復性うつ病性障害						1		1	0.9
F3 (上記以外の疾患)				1			1	2	1.7
F40 恐怖性不安障害									
F41 他の不安障害						2	1	3	2.6
F42 強迫性障害									
F43 重度ストレス反応及び 適応障害									
F44 解離性（転換性）障害	1				1			2	1.7
F45 身体表現性障害							1	1	0.9
F4 (上記以外の疾患)									
F50 摂食障害									
F51 非器質性睡眠障害									
F5 (上記以外の疾患)									
F6 成人のパーソナリティ及び 行動の障害					1			1	0.9
F7 精神遅滞		1	1					2	1.7
F84 広汎性発達障害									
F8 (上記以外の疾患)				1				1	0.9
F90 多動性障害									
F9 (上記以外の疾患)									
G40 てんかん									
その他							3	3	2.6
合 計	2	2	9	14	12	19	57	115	100.0
構成比%	1.7	1.7	7.8	12.2	10.4	16.5	49.6	100.0	

2020年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全 体								合計	占有率 (%)
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～			
F00 アルツハイマー型認知症						1	27	28	16.8	
F01 血管性認知症							7	7	4.2	
F02 その他の疾患による認知症										
F05 せん妄							11	11	6.6	
F0 (上記以外の疾患)			1			2	12	15	9.0	
F10 アルコール使用による障害					2	2	2	6	3.6	
F1 (上記以外の疾患)				1				1	0.6	
F20 統合失調症			4	14	9	8	7	42	25.1	
F2 (上記以外の疾患)			1	1		2	3	7	4.2	
F30 躁病エピソード										
F31 双極性感情障害		1		2	2		3	8	4.8	
F32 うつ病エピソード			1	3	1	3	3	11	6.6	
F33 反復性うつ病性障害										
F3 (上記以外の疾患)										
F40 恐怖性不安障害										
F41 他の不安障害		1		1		1	1	4	2.4	
F42 強迫性障害										
F43 重度ストレス反応及び 適応障害							3	3	1.8	
F44 解離性（転換性）障害		1						1	0.6	
F45 身体表現性障害						1	4	5	3.0	
F4 (上記以外の疾患)										
F50 摂食障害	1							1	0.6	
F51 非器質性睡眠障害										
F5 (上記以外の疾患)										
F6 成人のパーソナリティ及び 行動の障害										
F7 精神遅滞		3	2	1	1			7	4.2	
F84 広汎性発達障害										
F8 (上記以外の疾患)										
F90 多動性障害										
F9 (上記以外の疾患)										
G40 てんかん										
その他			1		1		8	10	6.0	
合 計	1	6	10	23	16	20	91	167	100.0	
構成比%	0.6	3.6	6.0	13.8	9.6	12.0	54.5	100.0		

3-2 新入院患者の病名別人数と構成割合の年次推移

病 名 (ICD-10)	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
F00 アルツハイマー型認知症	37	18.4	20	16.9	14	12.3	17	14.8	28	16.8
F01 血管性認知症	14	7.0	3	2.5	2	1.8	6	5.2	7	4.2
F02 その他の疾患による認知症	3	1.5	2	1.7	5	4.4				
F05 せん妄	6	3.0	4	3.4	4	3.5	3	2.6	11	6.6
F0 (上記以外の疾患)	6	3.0	5	4.2	6	5.3	5	4.3	15	9.0
F10 アルコール使用による障害	6	3.0	4	3.4	2	1.8	6	5.2	6	3.6
F1 (上記以外の疾患)	2	1.0	2	1.7			1	0.9	1	0.6
F20 統合失調症	67	33.3	47	39.8	46	40.4	37	32.2	42	25.1
F2 (上記以外の疾患)	1	0.5	4	3.4	6	5.3	6	5.2	7	4.2
F30 躁病エピソード										
F31 双極性感情障害	13	6.5	4	3.4	8	7.0	10	8.7	8	4.8
F32 うつ病エピソード	16	8.0	6	5.1	4	3.5	8	7.0	11	6.6
F33 反復性うつ病性障害	2	1.0	4	3.4			1	0.9		
F3 (上記以外の疾患)	1	0.5			1	0.9	2	1.7		
F40 恐怖性不安障害										
F41 他の不安障害	8	4.0	3	2.5	5	4.4	3	2.6	4	2.4
F42 強迫性障害										
F43 重度ストレス反応及び 適応障害	1	0.5	1	0.8	3	2.6			3	1.8
F44 解離性（転換性）障害			3	2.5	1	0.9	2	1.7	1	0.6
F45 身体表現性障害	2	1.0					1	0.9	5	3.0
F4 (上記以外の疾患)					1	0.9				
F50 摂食障害	1	0.5	1	0.8	1	0.9			1	0.6
F51 非器質性睡眠障害										
F5 (上記以外の疾患)										
F6 成人のパーソナリティ及び 行動の障害	3	1.5	1	0.8	1	0.9	1	0.9		
F7 精神遅滞	5	2.5	3	2.5	1	0.9	2	1.7	7	4.2
F84 広汎性発達障害	2	1.0								
F8 (上記以外の疾患)							1	0.9		
F90 多動性障害										
F9 (上記以外の疾患)										
G40 てんかん	5	2.5	1	0.8	1	0.9				
その他					2	1.8	3	2.6	10	6.0
合 計	201	100	118	100	114	100	115	100	167	100

4 新入院患者の年齢階層別人数及び割合の年次推移

年度 年齢階層	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
～ 19才	0	0.0	3	2.6	1	0.9	2	1.7	1	0.6
20才～29才	16	8.0	8	6.9	6	5.3	2	1.7	6	3.6
30才～39才	18	9.0	6	5.2	9	7.9	9	7.8	10	6.0
40才～49才	27	13.4	12	10.3	13	11.4	14	12.2	23	13.8
50才～59才	21	10.4	17	14.7	11	9.6	12	10.4	16	9.6
60才～69才	36	17.9	22	19.0	29	25.4	19	16.5	20	12.0
70才～	83	41.3	48	41.4	45	39.5	57	49.6	91	54.5
合 計	201	100.0	116	100.0	114	100.0	115	100.0	167	100.0

5 入院患者の在院期間別人数及び割合（3月31日現在）

	2016年度 (H29. 3. 31現在)	2017年度 (H30. 3. 31現在)	2018年度 (H31. 3. 31現在)	2019年度 (R2. 3. 31現在)	2020年度 (R3. 3. 31現在)
1ヶ月未満	17	9	13	6	15
(%)	21.8	15.5	22.8	12.0	23.1
1ヶ月～3ヶ月未満	19	8	11	9	10
(%)	24.4	13.8	19.3	18.0	15.4
3ヶ月～6ヶ月未満	9	8	5	9	13
(%)	11.5	13.8	8.8	18.0	20.0
6ヶ月～1年未満	10	8	6	6	11
(%)	12.8	13.8	10.5	12.0	16.9
1年～5年未満	14	19	13	14	10
(%)	17.9	32.8	22.8	28.0	15.4
5年～10年未満	4	0	4	3	3
(%)	5.1	0.0	7.0	6.0	4.6
10年～20年未満	2	3	2	1	1
(%)	2.6	5.2	3.5	2.0	1.5
20年以上	3	3	3	2	2
(%)	3.8	5.2	5.3	4.0	3.1
合 計	78	58	57	50	65
(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

1年未満	55	33	35	30	49
(%)	70.5	56.9	61.4	60.0	75.4
1年以上	23	25	22	20	16
(%)	29.5	43.1	38.6	40.0	24.6

(再掲) 5年以上	9	9	9	6	6
(%)	11.5	15.5	15.8	12.0	9.2

6-1 退院患者の退院先別入院期間別人数及び割合

2016年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活								0	0.0
家族と同居	25	52	16	1	1			95	47.0
老人施設等	2	2	3	3	1			11	5.4
転院	14	12	9	4	7	1	1	48	23.8
共同住居	7	21	6	4	3		1	42	20.8
死亡		3		2	1			6	3.0
警察								0	0.0
その他								0	0.0
計	48	90	34	14	13	1	2	202	100.0
(%)	23.8	44.6	16.8	6.9	6.4	0.5	1.0	100.0	

2017年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活	1			2				3	2.2
家族と同居	13	39	10	7				69	50.0
老人施設等	2	2	1	1	1		1	8	5.8
転院	5	4	2	6	2	1	1	21	15.2
共同住居	5	7	10	1	3	1	1	28	20.3
死亡	3	1	1	2	1	0	1	9	6.5
警察									0.0
その他									0.0
計	29	53	24	19	7	2	4	138	100.0
(%)	21.0	38.4	17.4	13.8	5.1	1.4	2.9	100.0	

2018年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活								0	0.0
家族と同居	17	21	5	3	1			47	40.9
老人施設等	5	4	5		1			15	13.0
転院	12	6	5		3	1	1	28	24.3
共同住居	6	6	3	3	3			21	18.3
死亡					3	1		4	3.5
警察								0	0.0
その他								0	0.0
計	40	37	18	6	11	2	1	115	100.0
(%)	34.8	32.2	15.7	5.2	9.6	1.7	0.9	100.0	

2019年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活								0	0.0
家族と同居	14	23	12	5	1	1		56	45.9
老人施設等	4	5	2					11	9.0
転院	11	5	7	5	2	1	1	32	26.2
共同住居	4	2	4	5	1		2	18	14.8
死亡	2	1	1	1				5	4.1
警察								0	0.0
その他								0	0.0
計	35	36	26	16	4	2	3	122	100.0
(%)	28.7	29.5	21.3	13.1	3.3	1.6	2.5	100.0	

2020年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活					1			1	0.7
家族と同居	32	22	15	7	1			77	50.7
老人施設等	5	4	1	1	2			13	8.6
転院	10	12	4	10	2	1		39	25.7
共同住居	2	6	2	5				15	9.9
死亡		3	2		1	1		7	4.6
警察								0	0.0
その他								0	0.0
計	49	47	24	23	7	2	0	152	100.0
(%)	32.2	30.9	15.8	15.1	4.6	1.3	0.0	100.0	

6-2 退院患者の退院先別人数と構成割合の年次推移

年度 区分	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
単身生活		0.0	3			0.0		0.0	1	0.7
家族と同居	95	47.0	69	50.0	47	40.9	56	45.9	77	50.7
老人施設等	11	5.4	8	5.8	15	13.0	11	9.0	13	8.6
転院	48	23.8	21	15.2	28	24.3	30	24.6	39	25.7
共同住居	42	20.8	28	20.3	21	18.3	19	15.6	15	9.9
死亡	6	3.0	9	6.5	4	3.5	6	4.9	7	4.6
警察										
その他										
計	202	100.0	138	97.8	115	100.0	122	100.0	152	100.0

7 入院患者の居住地域別人数及び割合

		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)
北網圏	網走市	515	47.1	443	48.6	324	42.6	355	47.7	442	50.4
	北見市	65	5.9	50	5.5	53	7.0	32	4.3	31	3.5
	大空町	37	3.4	42	4.6	40	5.3	37	5.0	40	4.6
	美幌町	96	8.8	32	3.5	52	6.8	66	8.9	69	7.9
	津別町	13	1.2	25	2.7	18	2.4	29	3.9	3	0.3
	斜里町	76	6.9	83	9.1	54	7.1	46	6.2	74	8.4
	清里町	63	5.8	50	5.5	41	5.4	37	5.0	54	6.2
	小清水町	25	2.3	21	2.3	39	5.1	32	4.3	59	6.7
	訓子府町			6	0.7						
	置戸町									3	0.3
遠紋圏	紋別市	51	4.7	48	5.3	40	5.3	30	4.0	31	3.5
	佐呂間町	15	1.4	12	1.3	12	1.6	2	0.3		
	遠軽町	54	4.9	47	5.2	40	5.3	45	6.0	31	3.5
	湧別町	34	3.1	15	1.6	12	1.6	6	0.8	3	0.3
	滝上町	12	1.1	12	1.3	13	1.7	12	1.6	12	1.4
	興部町	5	0.5	13	1.4	4	0.5	4	0.5	2	0.2
	西興部村										
	雄武町									8	0.9
その他	他道内	33	3.0	9	1.0	18	2.4	11	1.5	6	0.7
	道外			4	0.4	1	0.1			9	1.0
	その他										
合 計		1,094	100	912	100	761	100	744	100	877	100

8 入院患者の経路別人数及び割合

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
本人自らの希望	63	44	4	32	61
(%)	19.7	21.4	3.2	17.9	22.9
家族・同僚等が同伴	116	54	42	56	91
(%)	36.3	26.2	33.6	31.3	34.2
保健所・福祉事務所の紹介	0	3	3	7	9
(%)	0.0	1.5	2.4	3.9	3.4
他の精神科病院等の紹介	2	0	2	2	0
(%)	0.6	0.0	1.6	1.1	0.0
精神科以外の病院等の紹介	59	41	26	36	53
(%)	18.4	19.9	20.8	20.1	19.9
警察・消防署等の紹介	21	14	22	7	1
(%)	6.6	6.8	17.6	3.9	0.4
その他	59	50	26	39	51
(%)	18.4	24.3	20.8	21.8	19.2
計	320	206	125	179	266
(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 経路別人数は複数計上あり

2018年度

入院経路	本人	家族			施設職員		保健所 警察等	計
		施設 職員	保健所 警察等	施設 職員	保健所 警察等	施設 職員		
自宅	4	42	0	3	0	0	13	62
一般病院	3	20	0	0	1	0	2	26
精神科病院	0	1	1	0	0	0	0	2
施設	1	4	2	0	8	0	2	17
グループホーム	0	2	2	0	6	0	0	10
その他（旅行中・警察等）	2	1	0	0	0	0	5	8
計	10	70	5	3	15	0	22	125

2019年度

入院経路	本人	家族			施設職員		保健所 警察等	計
		施設 職員	保健所 警察等	施設 職員	保健所 警察等	施設 職員		
自宅	32	56	1	5	0	0	4	98
一般病院	13	21	1	0	1	0	0	36
精神科病院	0	0	0	0	1	1	0	2
施設	6	7	5	1	8	2	0	29
グループホーム	2	1	1	0	4	1	1	10
その他（旅行中・警察等）	0	1	0	1	0	0	2	4
計	53	86	8	7	14	4	7	179

2020年度

入院経路	本人	家族			施設職員		保健所 警察等	計
		施設 職員	保健所 警察等	施設 職員	保健所 警察等	施設 職員		
自宅	61	91	2	7	0	0	1	162
一般病院	17	29	2	0	4	1	0	53
精神科病院	0	0	0	0	0	0	0	0
施設	4	7	4	0	6	0	0	21
グループホーム	6	6	4	0	4	1	0	21
その他（旅行中・警察等）	2	4	1	2	0	0	0	9
計	90	137	13	9	14	2	1	266

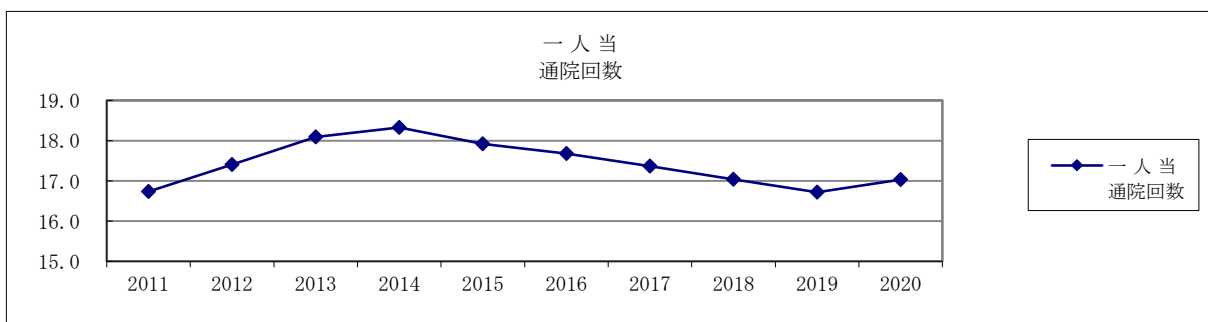
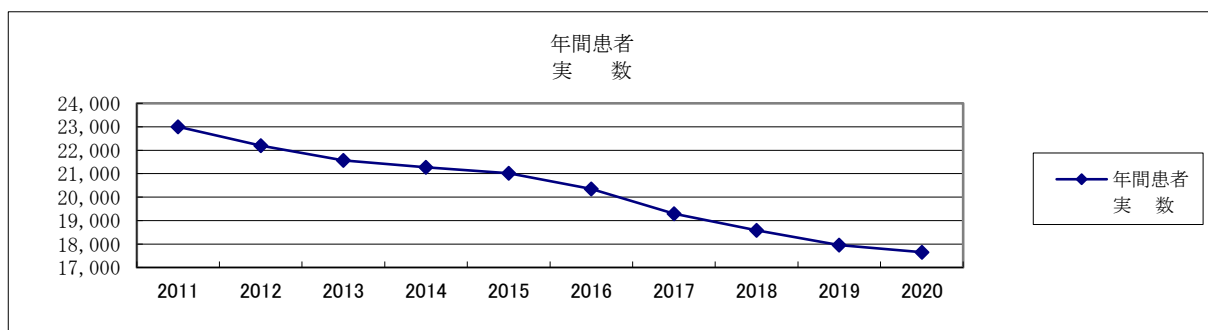
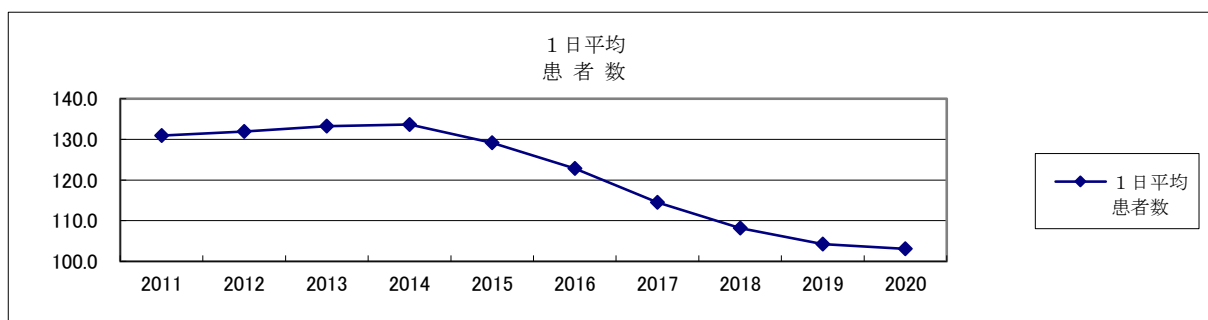
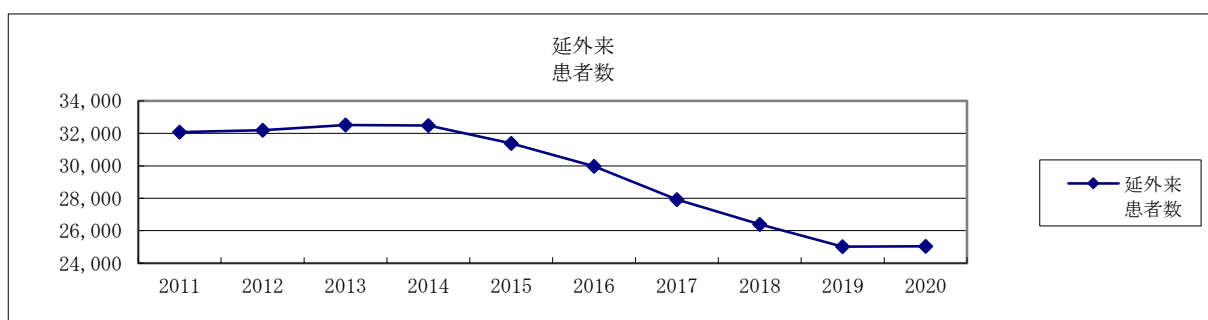
9-1 外来患者数の推移

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
延べ外来患者数	29,972	27,931	26,390	25,019	25,047
年間実患者数	20,347	19,298	18,586	17,960	17,651
新規外来患者数	685	610	595	626	645
1日平均患者数	122.8	114.5	108.2	104.2	103.1
休日診療患者数	5	4	7	6	1
時間外診療患者数	4	6	12	10	13
深夜診療患者数	3	2	4	10	7

9-2 外来患者数の推移（2011年度～2020年度）

（単位：人）

区分	延外来 患者数	新外来 患者数	1日平均 患者数	年間患者 実数	一人当 通院回数
2011	32,073	758	130.9	23,001	16.7
2012	32,188	730	131.9	22,189	17.4
2013	32,515	670	133.3	21,569	18.1
2014	32,480	870	133.7	21,267	18.3
2015	31,392	819	129.2	21,024	17.9
2016	29,972	685	122.8	20,347	17.7
2017	27,931	610	114.5	19,298	17.4
2018	26,390	595	108.2	18,586	17.0
2019	25,019	626	104.2	17,960	16.7
2020	25,047	645	103.1	17,651	17.0



10 初診外来患者の病名別分類

病名 (ICD-10)	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
F 0	121	17.7	120	19.7	122	20.5	104	16.6	125	19.4
F 1	6	0.9	9	1.5	9	1.5	15	2.4	12	1.9
F 2	24	3.5	19	3.1	27	4.5	21	3.4	29	4.5
F 3	156	22.8	82	13.4	82	13.8	93	14.9	83	12.9
F 4	207	30.2	157	25.7	165	27.7	173	27.6	185	28.7
F 5	28	4.1	10	1.6	10	1.7	13	2.1	6	0.9
F 6			4	0.7	3	0.5	7	1.1	4	0.6
F 7	45	6.6	51	8.4	45	7.6	52	8.3	49	7.6
F 8	21	3.1	24	3.9	12	2.0	17	2.7	33	5.1
F 9	5	0.7	5	0.8	18	3.0	7	1.1	19	2.9
G	4	0.6	54	8.9	39	6.6	48	7.7	53	8.2
その他	68	9.9	75	12.3	63	10.6	76	12.1	47	7.3
合 計	685	100.0	610	100.0	595	100.0	626	100.0	645	100.0

F0 : 症状性を含む器質性精神障害

F1 : 精神作用物質使用による精神及び行動の障害

F2 : 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害

F3 : 気分（感情）障害

F4 : 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害

F5 : 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群

F6 : 成人の人格及び行動の障害

F7 : 知的障害（精神遅滞）

F8 : 心理的発達の障害

F9 : 小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害

G : 神経系の疾患

その他 : 精神によらない内科的、外科的疾患

1 1 外来患者の居住地域別人数及び割合

		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)
北網圏	網 走 市	10,505	51.6	10,302	53.4	9,927	53.4	9,726	54.2	9,755	55.3
	北 見 市	1,336	6.6	1,346	7.0	1,353	7.3	1,317	7.3	1,234	7.0
	大 空 町	1,237	6.1	1,204	6.2	1,119	6.0	1,025	5.7	1,019	5.8
	美 幌 町	1,326	6.5	1,256	6.5	1,239	6.7	1,239	6.9	1,224	6.9
	津 別 町	278	1.4	226	1.2	227	1.2	211	1.2	206	1.2
	斜 里 町	3,055	15.0	2,827	14.6	2,596	14.0	2,389	13.3	2,204	12.5
	清 里 町	715	3.5	697	3.6	706	3.8	559	3.1	574	3.3
	小 清 水 町	906	4.5	801	4.2	797	4.3	816	4.5	794	4.5
	訓 子 府 町	56	0.3	43	0.2	45	0.2	47	0.3	22	0.1
	置 戸 町	7	0.0	12	0.1	14	0.1	3	0.0	11	0.1
遠紋圏	紋 別 市	102	0.5	71	0.4	82	0.4	96	0.5	85	0.5
	佐 呂 間 町	109	0.5	85	0.4	94	0.5	86	0.5	72	0.4
	遠 軽 町	95	0.5	74	0.4	66	0.4	96	0.5	78	0.4
	湧 別 町	111	0.5	77	0.4	69	0.4	66	0.4	80	0.5
	滝 上 町	35	0.2	28	0.1	28	0.2	21	0.1	26	0.1
	興 部 町	41	0.2	32	0.2	28	0.2	26	0.1	29	0.2
	西 興 部 村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	雄 武 町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	他 道 内	263	1.3	194	1.0	174	0.9	222	1.2	215	1.2
	道 外	7	0.0	23	0.1	22	0.1	15	0.1	23	0.1
	そ の 他	163	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計		20,347	100	19,298	100	18,586	100	17,960	100	17,651	100

1 2 診療時間以外の外来診療件数内訳

				2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
初診		時間外		1	3	4	5	5	
		休 日		2	2	2	2		
		深 夜		2		1	7	3	
		計		5	5	7	14	8	
再診	再診	時間外		3	3	8	5	8	
		休 日		2	2	5	3	1	
		深 夜		1	2	3	3	4	
		計		6	7	16	11	13	
	電話再診	時間外							
		休 日		1			1		
		深 夜							
		計		1			1		
	計	時間外		3	3	8	5	8	
		休 日		3	2	5	4	1	
		深 夜		1	2	3	3	4	
		計		7	7	16	12	13	
	合計		時間外		4	6	12	10	13
			休 日		5	4	7	6	1
			深 夜		3	2	4	10	7
			計		12	12	23	26	21

1 3 - 1 精神科救急医療システム実績

年 度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
(システム実施日数)	(176)	(183)	(181)	(184)	(177)
システム取扱件数	37	31	14	136	379
電 話 相 談	25	23	10	127	369
外 来	5	3	1	5	5
入 院	7	5	3	4	5

1 3 - 2 救急車による患者搬入件数の年次推移

年 度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
総 数	26	32	17	16	17
時 間 外	9	16	5	8	11

第4 経営概況

1 決算状況

(単位：千円、%)

款 項 目	2018年度	2019年度	2020年度	18年度対比	19年度対比
	A	B	C	C/A	C/B
病 院 事 業 収 益	739,772	742,386	789,816	106.7	106.3
医 業 収 益	551,845	553,846	604,537	109.5	109.1
う ち 入 院 収 益	312,738	317,217	365,568	116.8	115.2
う ち 外 来 収 益	230,818	226,844	231,591	100.3	102.0
うちその他医業収益	8,289	9,785	7,378	89.0	75.4
医 業 外 収 益	185,539	180,762	183,396	98.8	101.4
特 別 利 益	2,388	7,778	1,883	78.8	24.2
病 院 事 業 費 用	1,672,710	1,663,036	1,634,950	97.7	98.3
医 業 費 用	1,567,422	1,599,970	1,579,123	100.7	98.6
給 与 費	864,967	876,992	884,494	102.2	100.8
う ち 退 職 給 与 金	105,376	8,812	111,174	105.5	1,261.6
材 料 費	71,709	80,341	83,960	117.0	104.5
う ち 医 薬 材 料 費	70,109	78,930	82,419	117.5	104.4
経 費	355,384	371,048	344,964	97.0	92.9
う ち 旅 費	2,956	2,572	3,940	133.2	153.1
う ち 需 用 費	49,418	48,041	46,122	93.3	96.0
う ち 修 繕 費	5,906	20,991	3,891	65.8	18.5
う ち 委 託 料	256,010	259,833	260,147	101.6	100.1
うち使用料賃借料	19,452	18,569	19,119	98.2	102.9
う ち 役 務 費	17,557	17,438	7,440	42.3	42.6
減 価 償 却 費	270,049	266,174	263,041	97.4	98.8
資 産 減 耗 費	174	319	421	241.9	131.9
研 究 研 修 費	5,139	5,096	2,243	43.6	44.0
医 業 外 費 用	57,817	55,635	54,139	93.6	97.3
特 別 損 失	47,471	7,431	1,688	3.5	22.7
損 益	-932,938	-920,650	-845,134	90.5	91.7
外来収益/医業収益(%)	41.8	40.9	38.3	91.6	93.6
医業費用/医業収益(%)	284.0	288.8	261.2	91.9	90.4
給与と費 / 医業収益(%)	156.7	158.3	146.3	93.3	92.4
医業収益 - 医業費用	-1,015,577	-1,046,124	-974,586	95.9	93.1

2 経営分析調

区 分 項 目	算 出 基 礎	2018年度	2019年度	2020年度
病 床 利 用 率 (%)	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延許可病床数}} \times 100$	51.7	50.9	57.7
入 院 外 来 患 者 比 率 (%)	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	133.1	128.0	113.3
患 者 1 人 1 日 当 た り 入院収益 (円)	$\frac{\text{入 院 収 益}}{\text{年 延 入 院 患 者 数}}$	15,774	16,232	16,236
患 者 1 人 1 日 当 た り 外来収益 (円)	$\frac{\text{外 来 収 益}}{\text{年 延 外 来 患 者 数}}$	8,746	9,067	9,436
患 者 1 人 1 日 当 た り 収 益 (円)	$\frac{\text{入 院 ・ 外 来 収 益}}{\text{年 延 入 院 外 来 患 者 数}}$	11,761	12,209	12,624
投 薬 使 用 効 率 (%)	$\frac{\text{投 薬 収 入}}{\text{投 薬 薬 品 費}} \times 100$	130.1	125.9	123.2
注 射 薬 使 用 効 率 (%)	$\frac{\text{注 射 収 入}}{\text{注 射 薬 品 費}} \times 100$	114.0	114.1	118.4
職 員 給 与 費 率 (%)	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	156.7	158.3	146.3
材 料 費 率 (%)	$\frac{\text{材 料 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	13.0	14.5	13.9
経 常 収 支 比 率 (%)	$\frac{\text{経 常 収 益}}{\text{経 常 費 用}} \times 100$	44.2	44.6	48.3
医 業 収 支 比 率 (%)	$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{医 業 費 用}} \times 100$	35.2	34.6	38.3

3 診療行為別件数

年 度 区 分		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
初 診		748	644	628	646	692
投 薬	入 院	126,012	116,386	92,793	88,639	105,122
	外 来	4,731	4,226	6,711	8,875	12,443
	合 計	130,743	120,612	99,504	97,514	117,565
画 像 診 断	入 院	18,228	15,098	15,152	19,946	16,272
	外 来	14,346	20,135	21,196	24,060	22,843
	合 計	32,574	35,233	36,348	44,006	39,115
検 査	入 院	45,090	34,484	30,012	34,879	38,127
	外 来	41,124	41,206	48,648	56,183	50,006
	合 計	86,214	75,690	78,660	91,062	88,133
特別食（単位：食）		15,561	17,507	11,079	10,355	10,640
訪 問 看 護		2,125	2,472	2,562	2,809	3,195
往 診		0	0	0	0	0
作 業 療 法		4,387	4,492	4,257	4,046	4,809
薬 剤 管 理 指 導		243	321	282	267	0
デ イ ケ ア		7,608	6,996	6,256	5,528	5,842

*薬剤管理指導は、2016年10月より実施

4 病床１００床当たり職員数

年 度 職 種 等	2016 年 度	2017 年 度	2018 年 度	2019 年 度	2020 年 度
病 床 数	105	105	105	105	105
医 師	4.8	4.8	4.8	5.0	4.9
看 護 部 門	56.2	49.5	49.5	45.7	45.7
薬 剤 部 門	2.6	2.6	2.6	2.6	1.7
栄 養 部 門	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
画 像 診 断 部 門	1.9	1.9	1.9	2.9	2.9
臨 床 検 査 部 門	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
地 域 連 携 部 門	—	4.8	4.8	6.7	6.7
作 業 療 法 部 門	1.0	—	—	—	—
デ イ ケ ア 部 門	3.8	—	—	—	—
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 部 門	—	4.8	4.8	4.8	4.8
心 理 判 定 部 門	—	1.0	1.0	1.0	1.0
認 知 症 疾 患 医 療 セ ン タ ー 部 門	2.9	1.9	1.9	1.9	1.9
指 導 部 門	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—
事 務 部 門	7.6	8.6	8.6	8.6	8.6
合 計	83.7	82.8	82.8	82.1	81.1

1 職員数には、委嘱医、非常勤職員、臨時職員を含み、委嘱医、非常勤職員は常勤換算し算出

2 看護部門には、看護助手を含む

3 職員数＝年度末職員数／年度末病床数×１００

4 平成２８年６月２０日から病床数１０５床に変更

5 医薬材料使用効率調

(単位：円、%)

年 度 区 分		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
投 薬 注 射 薬 品 計	費用 a	25,628,498	21,838,270	17,283,826	17,711,486	19,373,352
	収益 b	32,736,513	28,604,083	22,480,641	22,308,549	23,868,455
	率 b/a	127.7	131.0	130.1	126.0	123.2
そ の 他 医 薬 材 料 合 計	費用 a	47,243,571	38,565,128	37,897,827	42,575,262	38,743,015
	収益 b	54,636,497	45,044,425	43,202,152	48,565,784	45,864,705
	率 b/a	115.6	116.8	114.0	114.1	118.4
計	費用 a	60,397,798	60,397,798	55,181,653	60,286,748	58,116,367
	収益 b	73,648,508	73,648,508	65,682,793	70,874,333	69,733,160
	率 b/a	121.9	121.9	119.0	117.6	120.0
計	費用 a	13,961,777	11,559,770	10,940,563	13,704,638	18,258,352
	収益 b	195,858,307	190,032,484	171,914,565	166,076,335	178,290,857
	率 b/a	1,402.8	1,643.9	1,571.4	1,211.8	976.5
計	費用 a	74,359,575	71,957,568	66,122,216	73,991,386	76,374,719
	収益 b	269,506,815	263,680,992	237,597,358	236,950,668	248,024,017
	率 b/a	362.4	366.4	359.3	320.2	324.7

※ 「その他医薬材料」とは、検査、X線、処置、手術、精神科専門療法に係るものの合計である。

6 給食収益に対する材料費調

(単位：円、%)

年 度 区 分		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
(うち用具費分)		(62,949)	(64,118)	(120,153)	(78,111)	(380,721)
費 用 A		24,042,206	21,875,413	17,810,365	17,730,426	20,238,573
収 益 B		53,391,266	45,559,912	36,325,795	36,325,795	36,325,795
率 A/B		45.0	48.0	49.0	48.8	55.7
(うち用具費分)		(2)	(3)	(6)	(4)	(17)
1人1日当たり費用		856	906	898	907	915

第5 地域支援活動

1 診療支援

J A北海道厚生連網走厚生病院には精神科の専門医が配置されていないが、入院患者の中には主疾病とは別に精神的な治療を必要とする患者がおり、臨時的な専門医による診療が必要な状況から当院が支援を行っている。

網走市内で精神科専門医を要しているのは当院のみであり、公的医療機関として地域の医療機関への補完的応援を行い地域の医療確保に努める必要があることから、当該病院に対し診療支援を行っている。

2 地域の保健、予防活動

地域の保健、予防活動の普及、促進等のため、関係機関への協力、支援を行っている。

機 関 名	内 容
北海道森林管理局	心の健康づくり相談員
北海道警察本部	鉄砲刀剣類所持等取締法に基づく指定医
北海道保健福祉部	精神科病院実地審査委員
北海道教育委員会	心の健康相談員
北海道オホーツク総合振興局	精神保健医
	生活保護法による委嘱医
	精神保健相談事業
	思春期相談事業
北海道網走高等看護学院	講師
北海道網走養護学校	学校医
道立心身障害者総合相談所	一般巡回相談相談医
網走市	福祉事務所嘱託医(生活保護・特別障害者手当・子供発達支援センター業務)
	老人ホーム入所判定会議委員
	教育支援委員会委員
網走市外3町障害支援区分認定審査会	委員
網走市外3町介護認定審査会	委員
美幌地域3町障害程度区分認定等審査会	委員
J A北海道厚生連網走厚生病院	委嘱医師
網走地方精神保健協会	会長ほか役員、事務局員

3 講演

地方公共団体や各種団体からの依頼を受け、地域の保健活動の普及、促進等のため、講演を行っている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

4 自助グループへの支援

A・A（アルコールの自助グループ）活動の支援

アルコール依存症の治療は、薬物や精神療法には限界があり、仲間同士の体験や知恵から、断酒を自らが選び取る自助グループの存在は欠くことができないものであり、病院の近くに参加できるグループの存在は大きい。

現在、市内では、網走グループが、毎週月曜日の18時45分から20時まで、当院相談室を使用して、ミーティング活動を行っている。

グループへの支援は、外来看護師が窓口を担当し、ミーティング開催に向けて、入院、通院中の関係患者に通知し、参加を促している。

また、保健所主催のAA家族学習会への支援を行っている。

5 グループホームと地域活動支援センターの支援

市内にある共同住居（グループホーム）と地域共同作業所に対し、運営委員会やミーティングへの参加、訪問看護、相談及び指導員との連絡・調整等の支援を行っている。

6 網走保健所、市町村等との連携

(1) サポート会議

精神障がい者が円滑な地域生活ができるよう、関係者が情報交換を行い、連携の強化を図るため、月1回、地域の保健福祉担当者とケース検討を行っている。

年度別のケース検討件数は、次表のとおりである。

年度別ケース検討事例数

(単位：件)

月 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2016年度	12	12	13	14	13	10	10	12	10	8	11	18	143
2017年度	11	11	15	9	9	9	9	5	13	10	10	15	126
2018年度	8	7	7	9	7	14	5	9	10	3	3	3	85
2019年度	6	8	6	6	6	7	5	7	10	8	4	-	73
2020年度	6	7	9	10	6	9	6	6	6	9	5	11	90

(2) ヘルパー会議

市役所保健福祉課・保健センター職員、ホームヘルパーと精神障がい者や認知症老人の在宅支援などのケース検討等を隔月に1回、計146件実施している。
また、必要に応じ訪問看護ステーションなどと連携している。

(3) 心の健康相談

地域、職場などの各ライフステージにわたる精神的不健康、不適応状態にある者の相談援助を行い、健康状態の回復を目指したり、精神疾患の早期発見、早期治療、更には、精神障がいを有する者やその家族が抱えている問題に相談援助し、家族の問題の軽減を図る目的で網走保健所が実施している事業であり、月1回、当院医師が協力している。

(4) 移動精神保健相談

町内に精神科の医療機関がない住民に対し、身近な地域で容易に相談が受けられる機会を提供することを目的に保健所が実施している事業であり、当院医師が協力している。

(5) 思春期保健相談事業

中高校生等思春期における子どもとその親を対象に医師、保健師により思春期に関する相談を目的に保健所が実施している事業であり、当院医師が協力している。

(6) 通院患者の主治医相談

保健所保健師が、訪問指導などのために主治医との相談を求めてきた場合、随時、応じている。

対応困難なケースについては、事例検討会などを開催し、関係者を含めた主治医との連携を図っている。

その他退院予定者が対象となる場合もある。

(7) 福祉サービスとの連携

生活保護受給者等について、市及び総合振興局の生活保護担当者による主治医相談が、随時、行われている。

当院の場合、疾病による生活障害のため、生活保護を受給している障がい者が比較的多く、病状が悪化したことにより、緊急に相談を受けることもある。

(8) 介護保険制度への協力

市町村からの依頼により、主治医意見書を記載している。

介護保険主治医意見書取扱件数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
件数	306	213	143	182	186

(9) 障害者総合支援法への協力

市町村からの依頼により、主治医意見書を記載している。

障害者障害区分主治医意見書取扱件数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
件数	76	88	92	80	95

第6 研修、教育・実習

1 院内研修開催状況

開催年月日	研修会等の名称・内容	参加数	備考(講師等)
2020. 4. 1	新規採用者・異動者オリエンテーション	7名	事務長ほか
2020. 6. 10 7. 8	医療安全研修（事故集計結果等）	84名	医療安全管理委員会
2020. 7. 21 7. 12	行動制限研修会 ①行動制限中の観察、注意事項 ②クイック転落防止帯の使用方法について	74名	行動制限最小化委員会
2020. 9. 9 10. 14	医療安全研修（K Y T研修）	85名	医療安全管理委員会
2020. 10. 22 10. 23	公務員倫理研修	70名	事務長
2020. 12. 10	接遇向上取組発表会	45名	患者サービス向上委員会
2020. 12. 18 12. 21	感染症対策研修 新型コロナウイルス感染症について	71名	感染症対策委員会
2021. 1. 19 2. 22	行動制限研修会 精神保健指定医の視点でみる身体拘束の留意点について	88名	行動制限最小化委員会
2021. 1. 22 2. 8	医療安全研修（B L S研修）	88名	医療安全管理委員会
2021. 2. 5	褥瘡対策研修	33名	褥瘡対策委員会
2021. 3. 12	感染対策研修 ①環境整備について ②新型コロナウイルス感染症の軽症者滞在ホテル派遣報告 ③介護老人保健施設における新型コロナウイルス感染クラスターへの対応	88名	感染対策委員会
2021. 3. 19	医療安全研修 包括的暴力防止プログラム(CVPPP)を学ぼう	88名	医療安全管理委員会

2 院外研修会等参加状況

年 月 日	研修会等の名称	場 所	参 加 者
2020. 8. 12 ～ 8. 18	「重症度、医療・看護必要度」評価者 及び院内指導研修	WEB開催	岩永 智美
2020. 8. 23	心理オフィスK公開セミナー	WEB開催	祝田 政幸
2020. 8. 21 ～ 8. 23	N P B P P P 2 0 2 0 合同年会	WEB開催	中島 舞
2020. 9. 10	退院支援の基礎知識研修会	札幌市	鈴木 元樹
2020. 9. 17 ～ 9. 18	災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～研修会	札幌市	野澤 元樹
2020. 10. 1 ～ 10. 2	家族看護－家族の理解を深めよう－ 研修会	札幌市	前田 年枝

年 月 日	研修会等の名称	場 所	参 加 者
2020. 10. 9	現場で活かせる感染管理〈病院〉研修会	WEB開催	成瀬 智恵
2020. 10. 13	「死にたい」と言われたときに ー対象者のアセスメントとケアー研修会	札幌市	竹内 さつき
2020. 10. 17	北海道認知症疾患医療センターWEB懇話会	WEB開催	平森 芳浩
2020. 10. 21 ～10. 22	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 (第2回) 研修会	札幌市	更永 恵美
2020. 11. 1 ～11. 30	公認心理士オンライン現任者講習会	WEB開催	佐藤 いずみ
2020. 11. 7 ～12. 26	オンラインD-MCTトレーナー・ ワークショップ	WEB開催	山田 亜人
2021. 1. 12 ～ 2. 26	アルコール依存症臨床医等研修	WEB開催	三上 敦大 幡 賢
2021. 1. 13 ～ 3. 11	保健師助産師看護師実習指導者講習会	WEB開催	夏井 礼英
2021. 1. 16	N S Tセミナー	京都市	菱山 真広
2021. 1. 19 ～ 2. 16	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	WEB開催	山崎 優子
2021. 3. 4	災害看護Ⅱ〈災害支援ナース〉研修会	WEB開催	野澤 元樹
2021. 3. 6	北海道認知症疾患医療センターWEB懇話会	Web開催	平森 芳浩
2021. 3. 10 ～ 3. 12	全国自治体病院協議会精神保健指定医研修会	東京都	渡邊 一由
2021. 3. 13	依存症支援者研修	Web開催	佐藤 いずみ

3 教育、実習の受入

(1) 教 育

学 校 名	講 義 内 容	職 種	氏 名
道立網走高等看護学院	精神看護学援助論Ⅰ	医 師	幡 賢
	精神看護における倫理と人権擁護	看 護 師	高 橋 さとみ
	精神に障害を持つ人の回復への支援	看 護 師	河 野 宏 子
		看 護 師	折 笠 郁 子
	復興期に行われる生活支援について理解する	看 護 師	藤 井 賢 司

(2) 実 習

職 種	学 校 名 等	実 習 期 間	人 員
看 護	道立網走高等看護学院	2020. 8. 21 ～9. 2 2020. 10. 2～10. 14 2020. 11. 30～12. 16	延 247
看 護	道立紋別高等看護学院 新型コロナウイルス感染症対策のため中止		
看 護	日本赤十字北海道看護大学 新型コロナウイルス感染症対策のため中止		
看 護	学校法人 西野学園	2020. 10. 6～10. 9 2020. 10. 13～10. 16 2020. 10. 20～10. 23 2020. 10. 27～10. 30 2020. 11. 10～11. 13	延 86

(3) インターンシップ

職 種	学 校 名 等	実施期間	人数
看 護	新型コロナウイルス感染症対策のため中止		

(4) ふれあい看護体験

職 種	学 校 名 等	実施期間	人数
看 護	新型コロナウイルス感染症対策のため中止		

第 7 医療事故等の状況

1 医療事故等の公表基準

道では、近年の公立病院における医療事故に関する情報公開が急速に進展している状況を踏まえ、道立病院においても、病院運営の透明性を高め、さらに医療の安全管理体制の向上を図ることが必要との判断から、医療事故の公表に関する取扱いを定め、2006（平成18）年度発生の医療事故から適用することとした。

「道立病院における医療事故等の公表基準」の概要は、次のとおりである。

道立病院における医療事故等公表基準(概要)

(1) 目的

道立病院で発生した医療事故等を公表することにより、病院運営の透明性を高め、道民の医療に対する信頼を深めるとともに、医療における安全管理体制の向上を図ることを目的として、医療事故等の公表を行う。

(2) 医療事故等のレベル基準

レベ ル		障害の 継続性	障害の 程 度	内 容
イン シ デ ン ト	レベル0	－	な し	事故が起こりそうな環境に前もって気づいた事例、 実施される前に気づいた事例
	レベル1	－	な し	患者への実害がなかった事例 何らかの影響を与えた可能性はあったが、処置や治 療を要しなかった事例
医 療 事 故	レベル2a	一過性	軽 度	確認のための検査の必要が生じた事例 簡単な処置や治療を要した事例(湿布、鎮痛剤の投 与など)
	レベル2b	一過性	中等度	処置や治療を要した事例（皮膚の縫合など）
	レベル3	一過性	高 度	濃厚な処置や治療を要した事例(人工呼吸器の装着、 入院日数の延長、外来患者の入院など)
	レベル4	永続的	－	永続的な障害や後遺症が残った事例
	レベル5	死 亡	－	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)

(3) 公表基準

各レベルに対応するレベル基準は、次のとおりである。

区 分	レベル	過誤あり	過誤なし
インシ デント	レベル0	一括公表（個々の事例ごとに公表しない） ※1	
	レベル1		
医 療 事 故	レベル2a		
	レベル2b	概 要 公 表 （事例ごとに概要を公表する 医療機関名の公表はしない）	
	レベル3		
	レベル4	原則個別公表 ※2	
	レベル5		

※1 過誤なしについては、一括公表とするが、社会的意義が大きいと考えられるものについては、医療安全対策の観点から概要を公表する。

※2 個別公表については、患者及び家族の同意を得たうえで公表する。
なお、自殺については、患者家族に対する配慮から個別公表は行わない。

(4) 公表の方法

道立病院局のホームページで、次により公表する。

公表に際しては、北海道個人情報保護条例に基づき、十分配慮して行う。

ア 個別公表(随時)

事故の概要、原因及び今後の対策を掲載

なお、個別公表に当たっては、患者さん及びご家族に対し、事前に十分説明を行い、同意を得ることを原則とする。

イ 概要公表及び一括公表(年2回(11月、5月))

概要公表：事故の概要、原因及び今後の対策を掲載

一括公表：件数を掲載

2 医療事故等の発生状況

2016～2020年度の医療事故等の発生件数等は、次のとおりとなっている。

(単位：件)

レベル/年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
レベル0	27	81	149	189	213
レベル1	148	123	103	114	133
レベル2a	17	26	11	20	14
レベル2b	1	4	1	0	1
レベル3	1	0	0	0	2
レベル4	0	0	0	0	0
レベル5	0	0	0	1	0

第8 ご意見の概要

2020年度

分 類	主 な 内 容	対 応 内 容 な ど
苦 情 (19件)	・職員への不満 ・デイケアでマスク未着用者がいる	・関係部署にご意見内容を伝えた。
要 望 (20件)	・デイケア、作業療法活動に関すること ・食事の要望について ・売店、自動販売機について ・公衆電話について ・スマホ等の充電について ・外来給水器の利用再開について	・回答文書を掲示した。 ・関係部署にご意見内容を伝えた。
その他 (41件)	・職員への感謝 ・食事に関すること(感謝) ・食事に関すること(不満) ・療養環境について ・療養に関すること ・判読不能のもの など	・回答文書を掲示した。 ・関係部署にご意見内容を伝えた。
合計80件		

第9 資料(網走の精神保健・医療)

1 オホーツク総合振興局管内の人口と面積

人口：277,502人（住民基本台帳 R2.1.1）

（うち網走市35,039人、斜里町11,530人、清里町4,005人、小清水町4,800人、
大空町7,130人 斜網地域計62,504人）

面積：10,691km²（国土地理院 H30.10.1）

2 精神科医療機関の状況（精神科を標ぼうしているオホーツク総合振興局管内の病院・診療所）

	名 称	所在地	許 可 病 床 数					医療機能		
			総数	一般	療養	精神	感染	措置	応急	精神科 デイケア等
病 院	美幌療育病院	美幌町	150	60	30	60				
	北見赤十字病院	北見市	532	490		40	2	○		○
	（医）玉越病院	北見市	110			110				○
	小林病院	北見市	300	256	44					
	（医）端野病院	北見市	140			140				○
	（社医）道東の森総合病 院	北見市	85	85						
	北海道立向陽ヶ丘病院	網走市	105			105		○	○	○
	（社医）網走の丘総合病 院	網走市	39	39						
	遠軽厚生病院	遠軽町	337	285	50					
	（医）遠軽学田病院	遠軽町	135			135				
	広域紋別病院	紋別市	150	148			2			
診 療 所	清里クリニック	清里町	19	19						
	あしの医院	北見市	-							
	（社医）桂ヶ丘クリニック	網走市	-							

※1 道医務薬務課ホームページ「道内医療機関の名簿について」より（令和1年10月1日現在）

3 精神保健福祉社会資源

(1) 精神保健協会

名 称	所 在 地	電 話
網走地方精神保健協会	〒093-8585 網走市北7条西3丁目 網走保健所内	0152-41-0698

(2) 地域活動支援センター（地域共同作業所）

地域活動支援センター ふれ愛	〒093-0035 網走市駒場南1丁目4番1号 網走市ふれあい活動センター内	0152-45-4688
地域活動支援センター ニボグリラ	〒093-0035 網走市駒場南1丁目4番1号 網走市ふれあい活動センター内	0152-44-5992
地域活動支援センター 海の貝	〒093-0016 網走市南6条西2丁目 網走市民会館内	0152-61-4355
地域活動支援センター 梅トピア	〒093-0016 網走市呼人722-1	0152-48-3037

(3) 精神障がい者地域生活支援センター（北網圏域）

サポートネット北見	〒090-0084 北見市北9条東1丁目14番地	0157-31-3399
-----------	--------------------------	--------------

(4) 計画相談支援事業所

特定相談支援事業者 きずな	〒093-0045 網走市大曲 2 5 番地 1	0152-45-0050
相談支援センター 「りらいふ」	〒093-0014 網走市南 4 条西 2 丁目 1 本間ビル 1 階	0152-44-7681
特定非営利活動法人 オホーツクスポーツクラブ	〒093-0042 網走市潮見 1 8 5 - 1 9	0152-44-4880
網走市こども発達支援 センター ふわり	〒093-0061 網走市北 1 1 条東 1 丁目 1 0 - 1	0152-44-1884
相談室 べる	〒093-0042 網走市潮見 2 7 0 番地	080-2871-3255
相談支援事業所 ちあふる	〒099-3213 大空町東藻琴 3 4 0 番地 1	0152-67-7152
相談支援事業所 ゆい	〒099-4117 斜里町青葉町 4 1	0152-23-6556
相談室 とともに	〒099-4117 斜里町青葉町 2 8 番地 8	0152-23-7090
斜里地域子ども通園センター	〒099-4113 斜里町本町 4 3 番地 1	0152-23-6418

(5) 共同生活援助事業所（グループホーム）

※他障害も対象

共同生活住居みずなら※		〒099-4116 斜里町文光町26-12	0152-23-3783
サンライズヨピト	はまなす寮※	〒093-0045 網走市大曲 2 5 番地 1	0152-67-5081
	アスター※	〒099-2421 網走市字呼人 3 9 3 - 2	0152-48-3553
	サルビア※	〒093-0003 網走市南 3 条東 2 丁目	0152-44-7328
	ハッピー荘※	〒099-2421 網走市字呼人 7 2 1 - 1	0152-48-2660
	オリーブ※	〒093-0042 網走市潮見 5 丁目 1 2 5 - 6 7	
	アザレアⅠ※	〒099-2421 網走市字呼人 7 2 1 - 2	0152-48-2555
	アザレアⅡ※	〒099-2421 網走市字呼人 7 2 1 - 2	0152-48-3553
	グループホーム海の貝	〒093-0083 網走市海岸町 5 の 1 0	0152-67-8833
グループホーム海の貝2014	〒093-0083 網走市海岸町 5 の 1 0	0152-67-8833	
ひまわり	〒093-0043 網走市錦町120-20	0152-44-4875	
ふれ愛ホーム	〒093-0084 網走市向陽ヶ丘 2 丁目 1 4 - 1	0152-67-4462	
ケアホーム夢ふうせん※	〒093-0086 網走市二ツ岩 1 - 1 0	0152-67-4009	
グループホームプレジール	〒093-0083 網走市海岸町 3 の 1 3	0152-67-7963	
グループホームアンジュ	〒093-0074 網走市北 4 条西 3 丁目 9 - 4	0152-67-7963	
グループホーム天都の杜	〒093-0042 網走市潮見 3 1 9 - 7 5	0152-67-7871	
指定共同生活援助 東藻琴事業所 ちあふる	〒099-3213 大空町東藻琴 3 4 0 番地 1	0152-67-7152	
共同住居事業所ブーケ	〒099-4122 斜里町峰浜 1 1 0 - 1 1	0152-28-2026	

(6) 精神保健福祉ボランティアの会

はとの会	〒099-4112 斜里町港町 5 - 1	
コスモスクラブ	〒099-4405 清里町羽衣町35番地 清里町社協内	0152-22-4840

(7) ボランティアセンター

網走市ボランティアセンター	〒093-0012 網走市南2条西3丁目 網走市市民活動センター内	0152-61-4822
---------------	--------------------------------------	--------------

※ 網走市以外の各町のボランティアセンターは各町社会福祉協議会に設置

(8) 社会福祉協議会

網走市社会福祉協議会	〒093-0061 網走市北11条東1丁目10番地	0152-43-2472
斜里町社会福祉協議会	〒099-4116 斜里町文光町52番地17	0152-23-4704
清里町社会福祉協議会	〒099-4405 清里町羽衣町35番地	0152-22-4840
小清水町社会福祉協議会	〒099-3612 小清水町字共和13番地3	0152-62-3988
大空町社会福祉協議会	〒099-2300 大空町女満別西4条4丁目1番6号	0152-75-6021

(9) 家族会

ニポグリラ家族会	〒093-0035 網走市駒場南1-4-1 ふれあい活動センター内	0152-44-5992
----------	-----------------------------------	--------------

(10) 回復者クラブ

サークルエアポート	〒099-2323 大空町女満別西3条4丁目 大空町役場福祉課内	0152-74-2111
あおぞらの会	〒099-4113 斜里町本町6番地12 あおぞらの家	0152-23-6291
キララサークル	〒093-0073 網走市北3条西4丁目 市保健センター内	0152-43-8450

(11) 福祉の店

福祉の店 さんぽ	〒093-0202 網走市南4条西2丁目 ジオビル1F	0152-44-6128
----------	-----------------------------	--------------

(12) アルコール・薬物関連自助グループ等

北見断酒会	〒090-0053 北見市桂町3丁目165-16 森本様方	
-------	----------------------------------	--

(13) 高次脳機能障がい者を支援する会

「つながり」高次脳機能障がい者を支援する会	〒090-0062 北見市美山町東2丁目68-9 道東脳神経外科病院医療生活相談室内	0157-69-0300
-----------------------	---	--------------

(14) 社会復帰学級

パパスクラブ	〒099-4405 清里町羽衣町35番地 清里町保健福祉課	0152-25-3850
小清水町社会復帰学級	〒099-3698 小清水町元町2丁目1番1号 小清水町役場内	0152-62-2311

2020年度

北海道立向陽ヶ丘病院年報

2021年(令和3年)8月発行

発行 北海道立向陽ヶ丘病院
編集 向陽ヶ丘病院広報委員会

〒093-0084

北海道網走市向陽ヶ丘1丁目5番1号

電話 0152-43-4138

FAX 0152-43-4365

